

茨城下妻中教諭
宮崎師範附屬小主事
永代橋稅務署長
米國留學シカゴ大學生
京都加佐高女教諭
東京帝大大學院學生
滋賀大津高女兼女師教諭
静岡藤原中教諭
熊本天草中教諭
島根師教諭
佐賀師教諭
鹿兒島師教諭
香川師教諭

數物化學部
和歌山橋本高女教諭
東北帝大理科大學助教授
長崎長崎中教諭
關東旅順高女教諭
宮崎延岡中教諭

小和口 忍(福島)
△佐々木新七(岩手)
×鈴木重雄(滋賀)
×武田靜太(兵庫)
○田中眞次郎(新潟)
○中村孝也(群馬)
×南部慎太郎(京都)
△埜尻新太郎(福井)
○平井金次郎(富山)
○廣瀬 晃(新潟)
×福田源藏(熊本)
△増田綱夫(佐賀)
△嶺 鍊二郎(福岡)
△吉田 保(福岡)

静岡濱松師教諭
宮城師教諭
德島師教諭
東京豊島師教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)
千葉師教諭
鳥取倉吉中教諭
東京三中教諭
奈良高女師教諭
大分女師教諭
熊本女師教諭
宮城仙臺二中教諭
和歌山和歌山高女教諭
宮城宮崎高女教諭
東京私立大倉商教員
新潟米魚川中教諭
鳥取鳥取中教諭

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)
博 物 學 部
京都二高女教諭
神奈川師教諭

○錦織兵三郎(宮城)
△野口秀敏(茨城)
×唐土齊治(兵庫)
○山内太一(愛知)
△梅津一郎(山形)
×岡野梅吉(鳥取)
○小島 奄(茨城)
△及川久太郎(宮城)
△垣内春雄(和歌山)
×重藤省一(山口)
△須田秋之進(宮城)
×立石 亮(和歌山)
×辻田富吉(愛知)
△政所重三郎(北海道)
○安岡元次郎(福井)
△和田宗太郎(長野)
△磯田四郎(群馬)
○市原眞次(長野)

奈良師教諭
學習院助教授
秋田高女教諭
關東大連高女教諭
大分縣視學
兵庫神戸市高女教諭
本校專攻科生
北海道室蘭中教諭
朝鮮龍山中教諭
東京二中教諭
廣島廣島高女教諭
東京品川町東海尋高小校長兼訓導
名古屋市尋高小校長

○明治四十二年卒業官費文科兼修體操
三月卒業
專修科

神奈川師教諭
和歌山師教諭

△大木祐二(兵庫)
△大田順治(兵庫)
○賀川武雄(三重)
△櫻井香織(京都)
×佐藤利吉(岩手)
△中島光三(京都)
×成田千里(東京)
△福山惟吉(熊本)
×藤井友吉(福岡)
○古川善四郎(福岡)
×堀込餘重(山梨)
×松原久安(鳥取)
△柳川石次郎(富山)
△横山 實(岐阜)

東京高師訓導
東京高師助教授
(以上主要科專修ノ部)
熊本一師教諭
奈良師教諭
東京青山師教諭
宮城工教諭
山形高女兼山形女師教諭
福岡東筑中教諭
高知一中教諭
東京一中教諭

△二宮文右衛門(愛媛)
△山本長治(兵庫)
△神江恒雄(熊本)
△河津義一(大阪)
△上加世田成吉(鹿兒島)
△佐藤永吉(岩手)
△佐藤正明(山形)
△竹谷直彌(高知)
△都築鶴吉(高知)
△富永堅吾(熊本)
△長倉正次郎(静岡)
△箱島保五郎(福岡)
△原 廣(福岡)
△三木爲次郎(滋賀)
△村田直輝(長崎)

△河津彦四郎(大阪)
△澁谷大慶(福岡)
(死亡)
△菅波恒典(宮崎)
(死亡)
△高田文哉(大分)

兵庫御影師教諭
群馬前橋高女教諭
埼玉師教諭

(死亡)
△赤松芳太郎(兵庫)
△上江洲由謙(沖繩)
△小此木平(群馬)
△笠原義平(埼玉)

(死亡) △鈴木治市(千葉)
 △中瀬直治(富山)
 △中村修二(静岡)
 △早野清三郎(埼玉)
 △渡部兵馬(福島)

(以上英語兼修ノ部)

岐早岐早中教諭 △有田英次(静岡)
 △宇古則一(京都)
 △阪本秋治(東京)
 △阪本豊策(熊本)
 △細貝省二(新潟)
 △松岡辰三郎(熊本)
 △前澤誠助(長野)

(以上地理歴史兼修ノ部)

◎明治四十二年卒業撰科
 栃木女師教諭 (國語、漢文) 青木辰治(山形)
 沖繩一中教諭 (英語) 新崎盛茂(沖繩)
 鳥根濱田高女教諭 (死亡)(國語、漢文) 森廣利(福井)
 (動物、植物) 横山賀前(福島)
 (生理衛生)

◎明治四十三年卒業研究科(二箇年)官費生

文部省囑託 會津常治(長野)
 東京私立曉星中教員 小野久七(大分)
 長野松本中教諭 新家園(長野)
 三重女師教諭 八木壽治(鳥取)
 組育土地建物會社理事 山本慶治(兵庫)

◎明治四十三年卒業研究科官費生

熊本縣理事官 井野次郎(群馬)
 兵庫小野中教諭 片山莞爾(兵庫)
 奈良師教諭 河津義一(大阪)
 愛媛私立北嶺中教員 木村豐助(香川)
 朝鮮銀行ハルビン支店員 高世喜内(東京)
 茨城師教諭 堤永市(大分)
 滿洲南滿中學堂教諭 新帶國太郎(愛知)
 鹿兒島志布志中教諭 平木熊一(鳥根)
 佐賀師教諭 福田源藏(熊本)
 京都私立立命館大學講師 三上節造(廣島)
 宮崎博(茨城)

東京高師教諭 (死亡) 森廣利(福井)
 鳥根濱田高女教諭 諸橋徹次(新潟)
 横山賀前(福島)

◎明治四十三年卒業撰科

國語漢文部

宮城佐沼中教諭 △伊井松藏(埼玉)
 廣島師教諭 △入江保(香川)
 大阪市天王寺五尋小訓導兼校長 △岡篤郎(京都)
 青森縣視學兼屬 △熊谷保吉(青森)
 東京一中教諭 △黒羽英男(茨城)
 福島會津中教諭 △近藤正治(新潟)
 東京淺野セメント株式會社員 △竹内基高(知)
 兵庫伊丹中教諭 △多田徳助(青森)
 長野飯田中教諭 △永井廣新(新潟)
 大阪家庭雜誌編輯主筆 △長澤邦夫(兵庫)
 奈良女高師教諭 △松本龍之助(福島)
 新潟村松中教諭 △宮波治郎(新潟)
 學習院助教 △村山熊太(香川)
 山形師教諭 △山口直太郎(新潟)
 文部省囑託 △湯澤幸吉郎(秋田)

兵庫私立川崎商船教員 △渡邊義治(埼玉)
 東京高師講師 英語部 △青木常雄(茨城)
 文部省(東京教育博物館)囑託 △青地忠三(滋賀)
 神奈川師教諭 △秋葉馬治(福島)
 廣島三次中教諭 △足立芳之助(京都)
 秋田師教諭 △相澤留五郎(秋田)
 青森青森中教諭 △安部金之助(山形)
 新潟新發田中教諭 △五十嵐一郎(福島)
 大分師教諭附屬小主事 △生田五郎(兵庫)
 鹿兒島二鹿兒島中教諭 △石川頼彦(香川)
 兵庫柏原中教諭 △植木孝之助(兵庫)
 福島會津中教諭 △鶴飼盈治(長野)
 栃木佐野中教諭 △沖正治(石川)
 東京私立大倉商業教員 △大野清吉(群馬)
 長野松本中教諭 △河西駒吉(長野)
 三重四日市商教諭 △片山重一(兵庫)
 福井師教諭 △久米茂登之(熊本)
 熊本鹿本中教諭 △櫻井信郎(茨城)
 東京高師講師 △谷元坂一(廣島)
 遠山鐵治(静岡)

兵庫姫路師教諭
神奈川師教諭
京都私立同志社中教員
新潟高田中教諭
長野須坂尋高小校長兼須坂實高女校長
地理歴史部
京都帝大文科大學生
石川小松中教諭
文部省圖書官
大分大分中教諭
岡山津山高女教諭
京都府視學
愛知一師教諭
神繩女師兼高女教諭
福井縣視學
東京市柳町小訓導兼校長
山形酒田高女教諭
鐵道院西部鐵道管理局
埼玉女師教諭
南滿鐵道會社教育研究所員

△永井寅吉(兵庫)
△府瀨川熊司(埼玉)
△二見延治(神奈川)
△前窪勝之助(和歌山)
△宮川泉長(長野)
△和田乙治(長野)

○秋山眞造(栃木)
△伊東豐之(石川)
△内田寛一(佐賀)
△宇都宮益治(福岡)
△岡田眞策(東京)
△岡村英敏(鳥取)
△小田島徹二(秋田)
△川平朝令(東京)
△齋藤藤吉(千葉)
△坂口繼輔(東京)
△椎名安藏(福島)
△島岡浩一郎(群馬)
△鈴木昇(千葉)
△田中秀作(山口)

富山師教諭
福島相馬實高女校長兼教諭
香川女師教諭附屬小主事
臺灣拓殖製茶株式會社員
數物化學部
宮城女師教諭
愛知五中教諭
廣島尾道商教諭
北海道函館師教諭
長崎師教諭
島根師教諭
東京高師教諭
京都官津中教諭
東京盲學校教諭
東京アルカリ工業株式會社技師長
富山師教諭
鳥取米子中教諭
萬有舍密株式會社社長
和歌山師教諭

△土田長助(山形)
△富田彌三郎(栃木)
△平山直見(鹿兒島)
△松橋達生(青森)
△宮原民平(佐賀)

△上野威(山形)
△金子武雄(静岡)
△藤逸正(山口)
△高橋藤次郎(福島)
△田邊晋八(香川)
△白田貫一(廣島)
△古川八太夫(長崎)
△宮澤佳治(長野)
△山内鷲(福井)

秋田師教諭
兵庫御影師教諭
山形師教諭
東京女高師訓導兼教諭
秋田大館中教諭
茨城師教諭附屬小主事
博物學部
靜岡濱松師教諭附屬小主事
兵庫豐業教諭
朝鮮釜山中教諭
大阪市船場尋小校長
鹿兒島女師兼二高女教諭
山形師教諭
愛知岡崎高女教諭
沖繩中頭郡視學
新潟高田師教諭附屬小主事

△川崎喜一千(葉)
△神谷怡之吉(兵庫)
△木村敬吉(青森)
△小池信一(和歌山)
△樋渡熊雄(佐賀)
△堀七藏(富山)
△松本直記(熊本)
△横山精一(廣島)
△米持盛近(新潟)
△若月秀吉(山形)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

○會津龍平(奈良)
△石塚甚衛門(東京)
△岩村俊雄(高知)
△上島直之(三重)
△上田光曠(大分)
△梅本八郎(兵庫)
△岡田良治(東京)
△太田喜八郎(山形)
△太田章一(廣島)

富山師教諭
東京私立九段精華高女教員
長野師教諭
栃木師教諭
樺太中教諭
大阪市天王寺五尋小訓導
靜岡入江町巴高女教諭
愛知中學成章館教諭
東京豐島師附屬補習學校教員
群馬蠶絲教諭
滋賀八幡實高女教諭
愛知一師教諭
福岡福岡師教諭
東京農林教諭
東京豐島師教諭

△大地義治(福島)
△大塚平(千葉)
△金子光司(長野)
△兒島基德(大分)
△高島久次郎(福井)
△中川竹次郎(富山)
△中村源之介(茨城)

○明治四十三年 農業植物專修科 三月卒業
△岸川正(長崎)
△佐野隆壽(静岡)
△柴山林二郎(栃木)
△須合久三郎(千葉)
△鈴木靜種(愛知)
△相馬禎三郎(千葉)
△田島光一(群馬)
△中山久吉(静岡)
△波多岩四郎(富山)
△宮澤松哉(長野)
△森健次郎(滋賀)
△吉川準次郎(岐阜)

明治四十三年 撰科

宮城私立東

北學院教員 (教育、化學) 後藤源太郎(山形)

(死亡) (農學、植物)

城本 續(熊本)

熊本五名中教諭(農學、植物)

山下 莞爾(熊本)

朝鮮京畿道南陽普通

山下 傳三郎(京都)

校長兼簡易農校長 (農學)

山下 傳三郎(京都)

明治四十三年 本 科

十二月卒業本 科

數物化學科 (死亡) 淺沼 喬(東京)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

明治四十四年 撰科(二箇年)

三月卒業

埼玉縣理事官

伊藤 昌庸(山形)

東京青山師教諭

上加世田 成吉(鹿兒島)

東京高師訓導

二宮 文右衛門(愛媛)

滿洲南滿中學堂教諭

新帝國太郎(愛知)

佐賀師教諭

福田 源藏(熊本)

北海道室蘭中教諭

福山 惟吉(熊本)

東京品川町東海尋

松原 久安(鳥取)

高小校長兼訓導

松原 久安(鳥取)

明治四十四年 研究科

三月卒業

東京高師講師

青木 常雄(茨城)

東京アルカリ工業

青山 新一(岐阜)

株式會社技師長

相澤 留五郎(秋田)

秋田師教諭

安藤 文郎(福島)

朝鮮大田中教諭

石塚 基衛門(東京)

兵庫蠶業教諭

岡田 良治(東京)

愛知岡崎高女教諭

太田 喜八郎(山形)

沖繩中頭郡視學

喜多 繁(和歌山)

山形酒田高女教諭

(死亡) 兒島 基德(大分)

東京高師講師

(死亡) 椎名 安藏(福島)

朝鮮龍山中教諭

遠山 鑑治(靜岡)

滋賀彦根中教諭

西岡 彰夫(和歌山)

東京盲學校教諭

長谷川 榮(福島)

鳥取商教諭

(死亡) 二見 延治(神奈川)

大阪市役所學務課員

藤井 友吉(福岡)

神奈川一橫濱中教諭

森下 菅根(高知)

鳥取米子中教諭

山内 鷲(福井)

東京青山師教諭

小林 德太郎(京都)

東京私立成城中教員

佐武 林藏(鳥取)

福岡若松中教諭

島内 種吉(佐賀)

群馬富岡中教諭

菅原 融(山形)

福島會津中教諭

高田 德(栃木)

大阪梅田高女教諭

武井 繁太(徳島)

金澤市松ヶ枝町尋小訓導兼校長

土田 誠一(秋田)

東京帝大大学院學生

長井 晋(千葉)

福岡中學傳習館教諭

原澤 義太郎(群馬)

大分師教諭

藤井 啓治(岡山)

滋賀師教諭主事

村田 次郎(京都)

大阪市金區尋小訓導兼校長

村手 鼎(愛知)

福岡小倉商教諭

山際 格藏(大阪)

兵庫海上運送火災株式會社社員

横尾 惣三郎(群馬)

長野縣理事官

石田 理一(千葉)

鳥取商教諭

上野 篤(鹿兒島)

大阪市役所學務課員

上野 芳男(岩手)

神奈川一橫濱中教諭

大森 元幸(富山)

鳥取米子中教諭

柿崎 丈七(秋田)

東京青山師教諭

小林 德太郎(京都)

東京私立成城中教員

佐武 林藏(鳥取)

福岡若松中教諭

島内 種吉(佐賀)

群馬富岡中教諭

菅原 融(山形)

福島會津中教諭

高田 德(栃木)

大阪梅田高女教諭

武井 繁太(徳島)

金澤市松ヶ枝町尋小訓導兼校長

土田 誠一(秋田)

東京帝大大学院學生

長井 晋(千葉)

福岡中學傳習館教諭

原澤 義太郎(群馬)

大分師教諭

藤井 啓治(岡山)

滋賀師教諭主事

村田 次郎(京都)

大阪市金區尋小訓導兼校長

村手 鼎(愛知)

福岡小倉商教諭

山際 格藏(大阪)

兵庫海上運送火災株式會社社員

横尾 惣三郎(群馬)

長野縣理事官

石田 理一(千葉)

國語漢文部

山梨師教諭

萩野 素助(神奈川)

群馬女師教諭

大河原 欽吾(群馬)

奈良櫻井高女教諭

小林 政吾(岐阜)

新潟新潟高女教諭

坂井 伸太郎(新潟)

和歌山和歌山中教諭

櫻井 季(神奈川)

岩手師教諭

椎野 佐玄(山梨)

東京青山師教諭

鈴木 木吉(茨城)

愛媛大洲中教諭

竹中 常喜(高知)

埼玉師教諭

田代 慎思郎(新潟)

三重女師教諭

西卷 南平(新潟)

三重師教諭

新美 省吾(愛知)

埼玉浦和中教諭

日野 顯立(山形)

長野大町中教諭

福岡 俊次郎(鳥根)

熊本熊本高女教諭

畑野 竹松(長野)

京都帝大法科大學生

山口 亮三(長崎)

靜岡靜岡商教諭

荒木 秀一(栃木)

宮城仙臺一中教諭

池島 勝之介(茨城)

東帝大文科大學生

石井 金太郎(千葉)

英語部

石黒 魯平(愛知)

京都帝大法科大學生

荒木 秀一(栃木)

靜岡靜岡商教諭

池島 勝之介(茨城)

宮城仙臺一中教諭

石井 金太郎(千葉)

東帝大文科大學生

石黒 魯平(愛知)

第七章

卒業生 卒業年月及學科別(明治四十三年、四十四年)

地理歴史部

新潟長岡高女教諭
 群馬師範附屬小主事
 三菱合資會社員
 兵庫一神戸中教諭
 静岡濱松師範教諭
 群馬高崎高女教諭
 愛媛松山中教諭
 岩手師範教諭
 熊本一師範教諭
 佐賀小城中教諭
 京都府視學
 大阪天王寺師範附屬
 京都京都市高女教諭
 東京高師教授
 群馬前橋高女教諭
 京都三中教諭
 山形米澤商教諭

天澤高太郎(新潟)
 石井午二(静岡)
 大塚良治(埼玉)
 北垣楨之助(兵庫)
 古賀市郎(佐賀)
 佐藤牛平(群馬)
 田村靖(東京)
 津田儀作(京都)
 戸田克己(岡山)
 福山重吉(佐賀)
 藤森勝郎(長野)
 松島茂三(三重)
 水口民次郎(京都)
 村上秀一(京都)
 綿貫智雄(群馬)
 朝香四郎(群馬)
 石原幸之助(廣島)
 江見豊治(岡山)
 谷内讓富(山形)

東京市明治小訓導

東京市明治小訓導
 京都福知山中教諭
 東京帝大工科大學生
 京都師範附屬京都府地方視學
 青森師範教諭
 廣島廣島中教諭
 廣島吳中教諭
 長崎中宿與館教諭
 (以上數學物理ヲ主トスルモノ)
 香川高女兼女師教諭
 鹿兒島師範教諭
 株式會社程谷曹達工場員
 北海道函館中教諭
 鹿兒島女師兼二高女教諭
 東京二中教諭
 神奈川工教諭
 大分杵築中教諭
 兵庫神戸市高女教諭

筒井捨次郎(京都)
 西田留吉(岐阜)
 袴田集義(千葉)
 花岡元吉(山口)
 廣瀬實造(岐阜)
 廣田銳八郎(青森)
 松本寛次(兵庫)
 (死亡) 三浦新重郎(新潟)
 大和竹治(高知)
 渡邊英雄(兵庫)
 淺田正樹(新潟)
 植村良男(和歌山)
 海野洋(山梨)
 岡健壽(栃木)
 岡田良一(栃木)
 小野三郎(千葉)
 大久保鹿次郎(三重)
 大倉正三郎(三重)
 加藤榮五郎(福井)
 (死亡) 工藤由之助(山形)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

鳥根濱田中教諭
 兵庫姫路師範教諭
 東京女師教諭附屬小主事
 愛知女師兼二高女教諭
 香川丸龜高女教諭
 静岡沼津中教諭
 福岡鞍手中教諭
 東京青山師範教諭
 三重津高女教諭
 大阪工業試驗所技師

栗原徳長(鳥根)
 三田主市(兵庫)
 田中三郎(山梨)
 田中兵二良(三重)
 中桑静一(三重)
 中島嘉之吉(神奈川)
 中島直吉(福岡)
 廣瀬松次(埼玉)
 別所源太郎(三重)
 渡邊彦兵(愛知)

(以上國語漢文兼修ノ部)

大阪市集英尋小訓導兼校長
 東京市眞砂尋小訓導兼校長
 (明治四十四年三月卒業) 文科兼修體操專修科
 朝鮮京城專修教諭
 朝鮮大田中教諭
 東京高師助教授
 東京高師助教授
 (以上國語漢文兼修ノ部)
 廣島三次中教諭
 和歌山田邊中教諭
 熊本八代中教諭
 大阪池田師範教諭
 德島富岡中教諭
 鹿兒島師範教諭
 (以上英語兼修ノ部)

松田龜吉(群馬)
 宮川富次郎(愛知)
 渡邊年(東京)
 高橋虎彦(高知)
 瀧田和三郎(山梨)
 田淵忠三郎(佐賀)
 村上邦夫(熊本)
 森本角藏(鳥取)
 蘆田五郎(京都)
 飯島仁作(神奈川)
 木庭源三(熊本)
 小林東一郎(兵庫)
 佐藤嘉平(静岡)
 高山潔(長野)
 宮原信吾(福岡)
 有方新治(兵庫)
 新田勇(福島)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十四年)

德島警城中教諭
福岡築上高女教諭
(以上地理歴史兼修ノ部)

○明治四十四年卒業 數學專修科

- △平賀仙三郎(福島)
- △深水重盈(熊本)
- △阿部三郎(群馬)
- △伊藤仙藏(千葉)
- △岩瀬喜作(千葉)
- △岩田千之(岐阜)
- △入江隆雄(香川)
- △緒方純三郎(福岡)
- △小島三郎(埼玉)
- △小島芳衛(新潟)
- △紺井彌三郎(石川)
- △佐藤定吉(埼玉)
- △柴田寛(千葉)
- △砂川精一(東京)
- △田上市之丞(長野)
- △田村萬次郎(静岡)
- △福井省三(静岡)
- △星野半五郎(愛知)

宮城佐沼中教諭
東北帝大理科大學生
福井武生中教諭

○明治四十四年卒業 圖畫手工專修科

- △板垣繁樹(島根)
- △伊藤信一郎(愛知)
- △梅村好造(佐賀)
- △小倉隆藏(岐阜)
- △大倉征次郎(岡山)
- △河野嘯(愛媛)
- △黒田芳生(熊本)
- △小林吉平(新潟)
- △白石龍太郎(栃木)
- △鈴木猶吉(三重)
- △高野雪治(新潟)
- △田村美壽(山梨)
- △爲藤五郎(福岡)
- △原田隆(新潟)
- △東仁彦(熊本)
- △平木吉次郎(滋賀)

群馬師教諭

廣島高師訓導兼助教諭

愛知二高女教諭

東京豊島師教諭

廣島高師助教諭兼教諭

○明治四十四年卒業 撰科

- △古屋正壽(山梨)
- △堀孝雄(三重)
- △牧ヶ野教信(岐阜)
- △山樹大次郎(鳥取)
- △吉田俊造(富山)
- △遠藤三千次(群馬)
- △菅野敬吉(静岡)
- △高田道(福岡)
- △谷口勉(熊本)

○明治四十五年卒業 研究科(二箇年)

京都私立同志社中教員
京都宮津中教諭

△長谷川 榮(福島)
△前窪勝之助(和歌山)
△宮澤佳治(長野)

○明治四十五年卒業 研究科

愛媛女師教諭附屬小主事
静岡濱松師教諭附屬小主事
廣島忠海中教諭

△阿妻利八(福島)
△會澤龍平(奈良)
△池袋宗行(鹿児島)

東京帝大文科大學生

鳥根松江中教諭

新潟高田師校長

鐵道院西部鐵道管理局員

東京高師助教諭

大阪市高津小訓導兼校長

大阪工業試験所技師

○明治四十五年卒業 本國語漢文部

東京青山師教諭

千葉佐倉中教諭

東京豊島師教諭

長野飯田中教諭

東京高師訓導

長野伊那高女教諭

静岡濱松師教諭

東京帝大大学院學生

京都與謝郡高女教諭

- △石黒魯平(愛知)
- △柿崎丈七(秋田)
- △勝田新之助(千葉)
- △佐々木金久(高知)
- △鳥岡浩一郎(群馬)
- △新帶國太郎(愛知)
- △森本角藏(鳥取)
- △山際格藏(大阪)
- △渡邊彦兵(愛知)
- △安島末吉(茨城)
- △池田哲三(茨城)
- △井上宗助(東京)
- △岩本義恭(長野)
- △大野佐吉(兵庫)
- △河西三吉(長野)
- △黒岩胤高(高知)
- △坂井衛平(長野)
- △佐藤新作(長野)

第七章

卒業生 卒業年月及學科別

明治四十四、四十五年

井伊伯爵家編輯員
 静岡縣視學
 埼玉縣視學
 福岡朝倉中教諭
 釀造業
 岡山津山高女教諭
 千葉師範附屬小主事
 朝鮮平壤中教諭

英 語 部
 △佐成謙太郎(滋賀)
 △長 德太郎(静岡)
 △平 野 孝(愛知)
 △日比生 忠平(福岡)
 △宮 澤 半介(長野)
 △山下毅一郎(静岡)
 △結城權兵衛(新潟)
 △吉岡鹿二郎(徳島)

地理歴史部
 福岡師範
 千葉女師範附屬小主事
 千葉師範
 東京高師助教諭
 福岡中明善校教諭
 群馬林學高小訓導
 兼校長同實高女校長
 學習院助教授
 埼玉川越高女教諭
 岐阜加納高女兼女師教諭
 鹿兒島二鹿兒島中教諭
 京都師範
 宮城師範

(死亡) 藤木房次郎(京都)
 (死亡) 藤 島 保(山口)
 △古澤肥後男(熊本)
 △堀江 佐助(島根)
 △自賀田 廉一(千葉)
 △吉 田 庫造(埼玉)
 △渡 邊 弘(岐阜)
 △相原 賢藏(神奈川)
 △岡 磯 彦(大分)
 △高畑淺次郎(滋賀)
 △田 中 啓爾(福岡)
 △垂 野 光久(鹿兒島)
 △長 沼 亨(茨城)
 △二宮 榮春(愛媛)
 △平松定太郎(愛知)
 △正木貞二郎(千葉)
 △松岡萬次郎(熊本)
 △峰田龜太郎(静岡)
 △宮 本 藤(茨城)
 △山 田 恒治(兵庫)

數物化學部

京都市都三中教諭
 和歌山和歌山中教諭
 東京女師兼二高女教諭
 東京私立慶應義塾講師
 埼玉師範
 青森八月中教諭
 兵庫姫路師範
 香川高松高女教諭
 熊本熊本中教諭
 長野飯田中教諭
 鳥取師範
 三重一中教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)
 △泉 清藏(京都)
 △窪 田 公平(和歌山)
 △栗林誠之助(茨城)
 △黒木長太郎(宮崎)
 △小林伊三郎(三重)
 △小林 清治(岩手)
 △小林 元次(兵庫)
 △高橋 林吉(廣島)
 △永井 汎夫(熊本)
 △平 田 芳亮(富山)
 △六 車 茂(香川)
 △山下美一(三重)
 △吉岡 時藏(京都)

埼玉柏壁中教諭
 福島福島高女教諭
 福島安積中教諭
 大分師範
 茨城土浦中教諭
 宮城仙臺一中教諭
 山形山形高女兼女師教諭
 埼玉師範
 静岡静岡師範
 長崎中學猶興館教諭
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)
 東京南葛飾郡視學
 京都市錦林尋小訓導兼校長
 香川丸龜中教諭
 茨城土浦中教諭
 米國留學中
 朝鮮平壤高女教諭
 臺灣臺北中教諭
 東北帝大理科大學生

△黒澤正三郎(埼玉)
 △齋藤丈夫(秋田)
 △坂本善作(栃木)
 △豊永省三(群馬)
 △沼田龜之助(茨城)
 △長谷川 清(山形)
 △村 田 卓爾(山形)
 △山 崎 孝(長野)
 △山 田 武治(福井)
 △吉 島 虎一(長崎)
 △朝 倉 茂(東京)
 △井上 權治(滋賀)
 △北 甚一郎(石川)
 △黒土四郎(青森)
 △關根臺次郎(埼玉)
 △鶴田定方(東京)
 △藤見 睦治(静岡)
 △美 間 正道(山口)
 △山 口 鎌次(佐賀)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十五年)

明治四十五年撰科

千葉佐原中教諭(教育、數學) 安藤則太郎(岐阜)
(死亡)(教育、化學) 上野友助(鹿兒島)
東京日本橋高小訓導(教育、化學) 佐藤三善(福島)

大正二年專攻科

東京高師講師 修身漢文部
愛媛師教諭 内野台嶺(神奈川)
東京高師講師 卜部岩太郎(廣島)
東京高師講師 萩原 擴(長野)
鳥取倉吉中校長兼教諭 勝島林 藏(富山)
東京私立明治學院教員 熊坂圭三(神奈川)
東京豐島師教諭 久米卯之彦(東京)
三重二中教諭 黒田傳次郎(靜岡)
福島會津中教諭 近藤正治(新潟)
支那留學中 佐藤廣治(福島)
東京私立青山學院教授 神 逸郎(青森)
仙臺陸軍地方幼年學校教授 竹林貫一(群馬)
宮城佐沼中校長兼教諭 橋本文壽(福島)
文部省囑託 峰間信吉(東京)
長野松本中教諭 矢澤邦彦(長野)

大正二年研究科

栃木女師教諭 青木辰治(山形)
靜岡靜岡商教諭 池島勝之介(茨城)
三重二中教諭 岩 臨 莞爾(三重)
大分軒築中教諭 大倉正三郎(三重)
山形新庄中教諭 大竹竹治(宮城)
東京高師訓導 大野佐吉(兵庫)
奈良櫻井高女教諭 小林 政吾(岐阜)
福島會津中教諭 菅 原 融(山形)
靜岡女師校長 能勢頼俊(山梨)
廣島私立山中高女教諭 梅林寺勝三(埼玉)
香川綾歌商教諭 濱野知三郎(廣島)
新潟高田中教諭 細川 宜 哉(愛知)
宮 川 泉(長野)
大正二年本國語漢文部
關東旗順高女教諭 (死亡) 荒木文三(栃木)
東京二中教諭 河内平治(栃木)
宮城師教諭 小林義宥(山梨)
近藤兵庫(新潟)

廣島廣島高女教諭 白井繁太郎(香川)
佐賀師教諭 高野久太郎(熊本)
北海道釧路中教諭 高橋健二郎(新潟)
京都帝大法科大學生 高山直通(宮崎)
石川師教諭 竹 澤 隆(石川)
京都女師教諭附屬小主事 田村二十一(新潟)
長野師教諭 土屋彌太郎(長野)
鳥取倉吉中教諭 富澤 治(福井)
山形女師教諭 豐田信勝(福島)
長崎佐世保中教諭 野口三千春(熊本)
愛知一師教諭 野島茂作(靜岡)
熊本二師教諭 松浦繁太郎(佐賀)
茨城龍ヶ崎中教諭 (死亡) 前田高四郎(神奈川)
新潟新潟師教諭 吉田 庄治(富山)
臺灣國語學校助教授 和歌山春吉(新潟)
英 語 部 渡邊 節治(新潟)
福島會津中教諭 小野平六(大分)
東京市堀越商會員 甲 斐 操(福島)
北海道函館師教諭 佐々田 廣(秋田)
大分中津中教諭 武谷成通(福岡)

京都帝大大学院學生 田村 德治(秋田)
大阪大日本紡績會社員 對木重信(愛知)
岐阜岐阜中教諭 德 王 親吉(福岡)
大阪毎日新聞社員 富田義介(山口)
東京私立芝中教員 中島 眞孝(埼玉)
福島會津中教諭 西野正吉(茨城)
神奈川厚木中教諭 西村 忠雄(福島)
千葉佐倉中教諭 新里文八郎(岩手)
京都帝大文科大學生 平出眞九郎(兵庫)
兵庫小野中教諭 廣田 近三(大阪)
大阪市岸本商店員 本多 莞爾(長崎)
茨城土浦中教諭 本 田 政雄(熊本)
京都帝大法科大學生 松岡文七(香川)
九州市尾張屋商店貿易部員 松永茂雄(香川)
東京市尾張屋商店貿易部員 松本健之助(京都)
兵庫姫路中教諭 三浦 林平(德島)
茨城下妻中教諭 谷島彦三郎(茨城)
山口豐浦中教諭 山崎九二五(岡山)
文部屬 山口 勘助(三重)
地理歴史部

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正二年)

神奈川師範 五十嵐 米八郎(新潟)
 茨城女師附屬小主事 石川 義次(東京)
 京都帝大文科大學生 石田 恭造(島根)
 群馬女師附屬小主事 井東 豊彦(茨城)
 臺灣總督府警視兼警務官 大久保 留次郎(茨城)
 東京女師兼二高女教諭 大館 三良(高知)
 奈良師範 木戸 達夫(石川)
 茨城土浦高女教諭 齋藤 喜代松(栃木)
 京都帝大文科大學生 鈴木 登群(馬)
 石川師範 富岡 貫一(兵庫)
 福井武生中教諭 富田 傳(福井)
 青島第二小學校 豐川 善曄(沖繩)
 神奈川高女兼女師教諭 中川 清喜藏(三重)
 千葉師範 林 正躬(千葉)
 山梨師範 保坂 圃(山梨)
 文部屬 堀内 林平(長野)
 大阪天王寺師範 山種 二郎(長野)
 北海道札幌師範 吉岡 義雄(新潟)
 京都帝大理科大學生 會田 健治(新潟)
 (死亡) 井上 暉(栃木)

廣島師範 岩下 雄三(山梨)
 大阪女師教諭 上野 市太郎(山梨)
 佐賀佐賀中教諭 生山 忠雄(山梨)
 群馬藤岡中教諭 柿沼 彦吉(群馬)
 本校專攻科生 上山 道造(栃木)
 京都帝大理科大學生 岸野 佐吉(岐阜)
 山形新庄中教諭 木塚 五郎治(栃木)
 朝鮮大田中教諭 清水 道長(長野)
 山形師範 堤 政助(香川)
 愛知二師教諭 堀 幸次郎(山形)
 (以上數學物理ヲ主トスルモノ)
 東北帝大理科大學生 出射 榮(岡山)
 兵庫二神戶中教諭 遠藤 輝(岡山)
 新潟長岡女師教諭 小川 肇(山梨)
 高知一中教諭 加藤 藤吉(茨城)
 京都帝大大学院學生 四手井 次太郎(鳥取)
 京都京大一中教諭 島田 熊三郎(滋賀)
 東京私立海城中教員 隅田 忠男(高知)
 東北帝大理科大學生 高橋 彦一(静岡)
 橫須賀海軍工廠技師 長畑 順一郎(福岡)

古河合名會社大井試驗所員 西田 傳五郎(三重)
 愛媛師範 沼田 實(廣島)
 山梨都留中教諭 萩原 右三郎(山梨)
 福岡中修館教諭 古谷 莞示(静岡)
 (死亡) 光本 長之進(山口)
 樺太中教諭 村山 省吾(新潟)
 高知師範 谷田 澤隆甫(静岡)
 東京私立成城中教員 山岡 勘一(長野)
 滋賀師範 山本 嘉一(愛知)
 福岡小倉師範 吉田 彌三(福岡)
 福岡市視學 渡邊 繁吉(北海道)
 熊本八代中教諭 渡邊 季雄(熊本)
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)
 博物學部 赤岡 純一郎(長野)
 東北帝大理科大學助手 鈴木 清美(福島)
 大分白杵中教諭 長尾 巧(福岡)
 東北帝大理科大學生 西村 昇(福岡)
 德島德島中教諭 橋本 遷(愛知)
 青森師範 原 昂(北海道)
 香川三豐中教諭 舟橋 衛(茨城)

米國留學中 本多 彦九郎(福岡)
 東北帝大理科大學講師 渡邊 萬次郎(福島)
 ◎大正二年三月卒業文科兼修體操專修科
 外國留學中 大谷 武一(兵庫)
 大阪天王寺師範 甲佐 知定(宮崎)
 山形師範 神山 峰吉(栃木)
 福岡會津中教諭 鈴木 龜一郎(福岡)
 滋賀師範 平山 誠寬(崎玉)
 長野師範 町野 彝吉(熊本)
 長野松本中教諭 森田 文藏(熊本)
 (以上國語漢文兼修ノ部)
 神奈川縣學務課員 岸村 金次郎(神奈川)
 千葉佐原中教諭 木塚 長次郎(佐賀)
 朝鮮平壤中教諭 杉山 豐次(静岡)
 (以上英語兼修ノ部) 瀧 正善(岡山)
 福井師範 今井 學治(群馬)
 文部屬 今木 一郎(長野)
 東京豐島師範 雜賀 三省(千葉)
 香川三豐中教諭 杉山 通太郎(埼玉)

第七章 卒業生 卒業年月及學科(大正二年)

北海道室蘭中教諭
朝鮮京城高普通教諭
樺太中教諭
(以上地理歴史兼修ノ部)

◎大正二年 三月卒業 撰科

青木千代作(静岡)
大瀧正寛(山形)
村上才太郎(青森)

◎大正二年 四月卒業 本科

國語漢文部
鹿兒島二鹿兒島中教諭
米國シカゴ大學生
博物學部
箕浦忠愛(鳥取)

◎大正二年 五月卒業 研究科

佐藤利吉(岩手)

◎大正三年 三月卒業 專攻科

英語部
青木常雄(茨城)
稲葉三郎(栃木)

東京高師講師
飯島東太郎(栃木)
福島會津中教諭
鶴飼盈治(長野)
神奈川一横濱中教諭
上野芳男(岩手)
東京私立聖學院中教諭
齋藤源四郎(千葉)
伊太利ナポリ東洋語學校教員
下位春吉(東京)
青森八戸中教諭
宗元苗(青森)

千葉成東中教諭
(死亡)
田中文勝(埼玉)
長尾忠三郎(鳥取)

福井福井高女校長兼教諭
(死亡)
中村東二郎(東京)
橋本五作(山形)

鹿兒島川内中教諭
若月岩吉(長野)

◎大正三年 四月卒業 研究科

富山師教諭
五十嵐卯太郎(新潟)
大阪河内高女校長兼教諭
井上一(宮崎)
外國留學中
大谷武一(兵庫)
福井師教諭
櫻井信郎(茨城)
山形女師教諭
佐藤諦觀(新潟)
朝鮮大田中教諭
堤政助(香川)
鹿兒島二鹿兒島中教諭
中野傳治(東京)

沖繩女師兼高女教諭
高知師教諭

牧野良平(東京)
谷田澤隆甫(静岡)

◎大正三年 三月卒業 本科

國語漢文部

京都帝大文科大學生
△有賀敦義(山梨)
大阪天王寺師教諭
△射手矢貞三(大阪)
京都市視學
△巖西眞乘(滋賀)
熊本八代中教諭
△白杵東嶼(熊本)
静岡志太實高女教諭
△小澤忠造(静岡)
神奈川私立横濱實高女教員
△岸田與一(京都)
東京高師助教諭
△桑川定一(栃木)
京都師囑託
△佐藤鶴吉(神奈川)
本校專攻科生
△四宮茂徳(鳥取)
大阪清水谷高女教諭
△白石良五郎(福岡)
山形新庄中教諭
△高橋理八郎(岩手)
新潟高田師教諭
△武政房吉(高知)
京都帝大文科大學生
△富山忠義(兵庫)
熊本私立九州學院教員
△中江時助(岡山)
京都帝大文科大學生
△中野長右衛門(廣島)
秋田師教諭
△福士百衛(青森)

京都帝大文科大學生
△藤田豪之輔(秋田)
香川師教諭
△古山宗一(富山)
京都帝大文科大學生
△宮田和一郎(新潟)
京都帝大大學院學生
△務臺理作(長野)

英語部

東京帝大文科大學生
△秋葉隆(千葉)
鳥取米子中教諭
△井上貫一(岡山)
千葉成東中教諭
△今井三郎(兵庫)
香川大川中教諭
△今西四良(奈良)
布哇中央學院教員
△鶴澤孝(千葉)
長野野澤中教諭
△白田徳衛(長野)
三重四日市高女教諭
△奥村卯之助(茨城)
本校專攻科生
△大西太一(滋賀)
熊本熊本中教諭
△金生喜造(福岡)
宮城仙臺二中教諭
△鈴木得二(岩手)
茨城土浦中教諭
△高橋英治(群馬)
鹿兒島師教諭
△高木隆(静岡)
鳥取師教諭
△佃井久滿治(大阪)
東京豊島師囑託
△長尾宗次(鳥取)
福島福島中教諭
△堀茂左衛門(滋賀)
△松井秀男(福島)

岡山私立關西中教員
 福島私立石川中教員
 岡山矢掛中教諭
 地理 歴史部
 東京三高女教諭
 東京帝大史料編纂官補
 東京高師囑託
 茨城水海道中教諭
 埼玉浦和中教諭
 鹿兒島女師兼二高女教諭
 長野師教諭
 廣島雙三郡技藝女教諭
 熊本熊本中教諭
 北海道札幌一中教諭
 神奈川厚木中教諭
 大阪市役所吏員
 東京女高師助教諭兼訓導
 長崎長崎高女教諭
 數物化學部
 京都帝大理科大學講師
 △三島龍太郎(廣島)
 △村越庄吉(福島)
 ×守分敬太(岡山)
 △井上正(岡山)
 △上野菊爾(佐賀)
 △金栗四三(熊本)
 ×上治寅次郎(兵庫)
 △木藤重德(鹿兒島)
 △江田一策(大分)
 △木暮安水(群馬)
 △田邊領一(廣島)
 △豐島松治(愛知)
 △平野芳洲(熊本)
 △牧島金三郎(神奈川)
 △松本藤八(神奈川)
 △山根徳太郎(大阪)
 △山本幸雄(山梨)
 △吉本克己(高知)
 (荒勝文策(兵庫))
 高知一中教諭
 東京高師助教諭
 岐阜斐太中教諭
 (死亡)
 △市原哲夫(徳島)
 △北川久五郎(北海道)
 ○木村脩(岐阜)
 ×久保佐一(廣島)
 △黒金厚美(山形)
 △高井憲夫(群馬)
 △多田源二郎(新潟)
 ×中澤伊與吉(新潟)
 △二階源市(山口)
 △晴山西松(岩手)
 △福田光治(栃木)
 △藤岡茂(兵庫)
 ×古本徹雄(青森)
 △三野龜太郎(香川)
 (以上數學物理ヲ主トスルモノ)
 學習院助教諭
 南嶺中學校教諭
 鹿兒島師教諭
 京都帝大理科大學生
 千葉師教諭
 臺灣醫學校助教諭

福岡大牟田高女教諭
 栃木栃木中教諭
 愛知名古屋二高女教諭
 愛知一中教諭
 大阪市廣教尋小訓導兼校長
 北海道札幌二中教諭
 群馬太田中教諭
 新潟新發田中教諭
 臺灣國語學校助教諭
 群馬富岡中教諭
 徳島板野郡實高女教諭
 兵庫小野中教諭
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)
 博物學部
 青森弘前中教諭
 長野縣視學
 茨城師教諭
 東京高師訓導
 東京青山師教諭
 山梨瑞穂小訓導兼校長
 福岡小倉高女教諭
 △小林大右衛門(福岡)
 ×植植貞次(福島)
 △戸口倫策(和歌山)
 △友永謙二(福井)
 ○長井慶堯(大阪)
 △中里壽彌(青森)
 △那須正一(和歌山)
 △藤原菊藏(秋田)
 ×本田乙之進(山口)
 △山本俊一(和歌山)
 △吉田義一(徳島)
 ×鷺尾憲治(兵庫)
 △上地龜義(高知)
 △小林小四郎(長野)
 △流石英治(山梨)
 △鷲羽松太郎(香川)
 △中泉正雄(茨城)
 ×中澤吉之助(群馬)
 ×野見山久市(福岡)
 長崎五島中教諭
 東京高師助教諭
 群馬太田中教諭
 ◎大正三年三月卒業 圖書手工專修科
 臺灣國語學校助教諭
 熊本二師教諭
 廣島三原女師教諭
 大阪夕陽丘高女教諭
 埼玉師教諭
 大阪市東江小訓導
 石川女師兼二高女教諭
 鹿兒島師教諭
 京都女師教諭
 東京女高師訓導兼助教諭
 靜岡賀茂郡稻取尋高小校長
 福岡福岡師教諭
 滿洲奉天南滿中學校教諭
 兵庫加古高女教諭
 兵庫明石女師教諭
 臺灣國語學校助教諭
 △松本正(廣島)
 △水野彌作(長野)
 △山本金平(岡山)
 ×安東豐作(大分)
 ×諫山茂(福岡)
 ×大村守五(岡山)
 ×大和田勝(茨城)
 ×加藤邦造(埼玉)
 ×加納銀一(愛知)
 ×齋藤善治(富山)
 ×鈴木孝英(愛知)
 ×上甲二郎(愛媛)
 △谷山義隆(福岡)
 △土屋隆(靜岡)
 ×東本貞治(兵庫)
 ×富田秀法(富山)
 ×仲上秋三郎(兵庫)
 ×仲上義雄(兵庫)
 ×中野延輔(新潟)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正三年)

靜岡靜岡師教諭
長野師教諭
愛知一師教諭
大阪市東平野尋小訓導
秋田師教諭
宮城女師兼二高女教諭
愛知名古屋一高小訓導
福島師教諭

○大正三年 撰科
三月卒業

×中村正元(山形)
△根岸良治(埼玉)
×長谷川規矩進(茨城)
×平井暢二(靜岡)
△古屋亮壽(山梨)
×山形寬(福井)
△横井曹一(靜岡)
×吉岡啓三(福井)

大正三年 撰科
三月卒業

大阪市東區一高小訓導(英語)
福岡福岡高女教諭(物理、化學)
福岡直方高女教諭(教育、化學)
青森青森中教諭(修身、教育、物理)
富山師教諭(手工)
東京市東區小訓導(修身、教育)

○大正三年 本科
五月卒業

×川崎貞一(三重)
坂口五郎(福岡)
坂田政次郎(福岡)
杉本益藏(福島)
高木武一郎(熊本)
谷内爲五郎(富山)
中山武三(東京)

○大正三年 研究科

十二月卒業

其浦忠愛(鳥取)

○大正四年 研究科(二箇年)
三月卒業

米國留學中

本多彦九郎(福岡)

○大正四年 研究科
三月卒業

廣島三次中教諭
學習院助教授
和歌山田邊中教諭
東京高師端託
大阪市東江小訓導
東京高師助教諭
東京高師助教諭
京都帝大法科大學生
長野上田中教諭
藤井武生中教諭
鳥取師教諭
長野小訓導兼校長
東京市牛込高小訓導

×蘆田五郎(京都)
×阿藤質(岐阜)
×飯島仁作(神奈川)
×金栗四三(熊本)
×加納銀一(愛知)
×北川久五郎(北海道)
×桑川定一(栃木)
×高木隆(靜岡)
×高山直通(宮崎)
×竹原達平(島根)
×富田傳(福井)
×長尾宗次(鳥取)
×町田芳三(長野)
×山田正(鳥根)

○大正四年 本科
三月卒業

國語漢文部

兵庫神戸高女教諭
大阪十一中教諭
群馬師教諭
三重師教諭
鳥取米子中教諭
群馬太田中教諭

臺灣臺南高女教諭
本校專攻科生
兵庫柏原中教諭
朝鮮大田中教諭
愛知名古屋市二高教諭
沖繩女師教諭
北海道札幌一中教諭
本校研究科生

○大正四年 本科
三月卒業

△池田房一郎(岡山)
○市川寬(愛知)
△伊藤謙一郎(千葉)
×上山熊之助(三重)
△蛭原源助(福島)
△小野三郎(茨城)
△大久保二郎(福島)
△大關増次郎(茨城)
△金子彦二郎(新潟)
△河津啓太郎(兵庫)
△吉川俊清(香川)
△小田弘隆(愛知)
△高妻虎男(宮崎)
△小町谷常是(長野)
△五月女潤(茨城)
△佐藤石太郎(新潟)
×中川金之助(京都)
△則包末廣(香川)

大分大分中教諭

本校專攻科生
大阪市西區一高小訓導
高知師教諭
富山礪波中教諭
和歌山海草中教諭
大分大分高女教諭
茨城水戸高女教諭

英語部

石川七尾中教諭
東京市日本橋區山下總本店員
京都帝大法科大學生
山口山口中教諭

英語部

熊本八代中教諭
北海道室蘭中教諭
秋田秋田中教諭
長野諏訪中教諭
靜岡靜岡商教諭
愛知二高女兼女師教諭

(死亡)

△姫野亨(大分)
△福島耀三(北海道)
△藤江勲二(兵庫)
×本多篤(栃木)
△前川喜之助(富山)
△前藤信雄(新潟)
×宮地雄吉(高知)
△吉田武夫(愛知)
△青木義正(富山)
△安島毅(茨城)
×五十嵐秀(富山)
△石垣吉四郎(秋田)
×宇佐見章(愛媛)
×岡本均一(熊本)
×葛西茂胤(兵庫)
△加藤秀(宮崎)
△岸本達三(三重)
×草間國五郎(茨城)
×工富直(岐阜)
△久保覺太郎(香川)

京都帝大法科大學生
 岡山矢掛中教諭
 愛媛師教諭
 東京高師助教授兼訓導
 京都帝大法科大學生
 地理歴史部
 福岡若松市高女教諭
 朝鮮仁川公立商業專修兼
 公立高女教諭
 京都京都三中教諭
 京都帝大法科大學生
 群馬師教諭
 木戸公傳記編纂所員
 栃木足利工教諭
 大分字佐中教諭
 福岡東筑中教諭
 京都市西村商店員
 齋藤寅吉(福島)
 杉野芳郎(三重)
 武野政太郎(岡山)
 津野榮藏(岐阜)
 三田村一郎(福井)
 江頭六郎(福岡)
 遠藤久廣(神奈川)
 奥秀三郎(東京)
 高橋清之助(秋田)
 高橋文雄(秋田)
 武井群嗣(群馬)
 武田敬止(和歌山)
 中林義方(大阪)
 藤林文輔(山口)
 松田俊英(山形)
 宮川經知(熊本)
 伊古美都郎(鳥根)
 石口重人(廣島)
 梅田常治(熊本)
 静岡師範教諭
 熊本八代中教諭
 福島磐城中教諭
 京都帝大理科大學生
 神奈川師教諭
 東京私立大倉商教員
 山梨師教諭
 愛知一中教諭
 山崎山口師教諭
 大分竹田中教諭
 熊本中學濟々養教諭
 鳥取鳥取中教諭
 香川師教諭
 熊本熊本中教諭
 北海道札幌師教諭
 神奈川一横濱中教諭
 北海道札幌一中教諭
 熊本二師教諭
 河合熊太(香川)
 柿崎兵部(秋田)
 片岡正之(千葉)
 河路甲午郎(新潟)
 兒玉鹿三(和歌山)
 佐藤三郎(福岡)
 塚本文治(福井)
 中島盛一(熊本)
 橋本三郎(千葉)
 平田俊太郎(香川)
 廣瀬正雄(大分)
 丸山正雄(和歌山)
 三水政次(兵庫)
 光安弘(福岡)
 吉田一豊(廣島)
 吉村英太(北海道)
 依田操(兵庫)
 阿部源三郎(山形)
 伊南世燈(新潟)
 小野栖平(北海道)

山形女師教諭
 福岡中學明善校教諭
 茨城水海道中教諭
 静岡女師教諭
 高知海南中教諭
 兵庫柏原中教諭
 茨城師教諭
 石川師教諭
 香川大川中教諭
 兵庫豊岡中教諭
 東京帝大農科大學副手
 磁賀女師兼大津高女教諭
 熊本玉名中教諭
 滿洲營口實業學堂教諭
 北海道函館師教諭
 北海道小樽中教諭
 栃木私立烏山中教員
 愛知一中教諭
 茨城太田中教諭
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)
 大川房吉(秋田)
 大場信可(岐阜)
 加藤鑑(石川)
 加藤木胤雄(茨城)
 神吉久兵衛(長崎)
 久米可秀(徳島)
 栗原豊太郎(静岡)
 鹽見龜藏(京都)
 鈴木不二雄(徳島)
 田村 誠(和歌山)
 富田辨司(兵庫)
 花田英太郎(佐賀)
 平田義雄(静岡)
 藤木源吾(福岡)
 星 敬 宥(福島)
 堀野芳人(長野)
 正木 修(愛知)
 前田 廣(福井)
 吉岡喜四郎(茨城)
 福岡小倉市視學
 久原鐵業株式會社員
 京都師教諭
 京都帝大大学院學生
 長野長野中教諭
 群馬師教諭
 京都女師教諭
 石川小松中教諭
 長崎佐世保中教諭
 福岡私立中學西南學院教員
 鳥取米子高女教諭
 三重四教諭
 大阪市東區二高小訓導
 大阪市櫻宮尋小訓導兼校長
 (以上國語漢文兼修ノモノ)
 江幡龜壽(茨城)
 嵯峨一郎(岐阜)
 清水善次郎(長野)
 土田 茂(新潟)
 鳥羽 茂(長野)
 永田四郎(静岡)
 堀口時香(群馬)
 松岡 誠(宮城)
 松園弘見(長崎)
 安永 雲(福岡)
 阿垣徹治(鳥取)
 杉浦卯三(愛知)
 武田晴夫(徳島)
 原谷四郎一(兵庫)
 關谷玉岩(愛媛)
 橋本寛重(高知)
 堀北茂行(徳島)
 大正四年文科兼修體操專修科
 三月卒業

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正四年)

朝鮮水原農林專門學校教諭 △前田末喜(熊本)
(以上英語兼修ノモノ)

東京府屬
南滿中學堂教諭 ×坂井俊三郎(長野)
東京高師囑託 ×杉山梅吉(靜岡)
北海道函館師教諭 △野口源三郎(埼玉)
△山崎光雄(東京)
(以上地理歴史兼修ノモノ)

◎大正四年 數學專修科

山口豐浦中教諭 ×淺野丈夫(岡山)
兵庫豐岡中教諭 △池上 壽(廣島)
東京國光生命保險株式會社員 ×井上利憲(鹿兒島)
東北帝大理科大學生 ×大石喬一(靜岡)
岐阜師教諭 △神谷 仁(岡山)
鹿兒島一鹿兒島中教諭 ×香取繁雄(岡山)
茨城師教諭 ×鈴木正秋(群馬)
大阪天王寺師教諭 ×多久儀四郎(熊本)
愛知三中教諭 ×常陸重五郎(兵庫)
兵庫姫路師教諭 ×橋本 好(兵庫)
千葉千葉中教諭 △原田勝一郎(栃木)
鳥取鳥取高女教諭 ×松田光男(鳥取)

群馬高崎中教諭 △松本 健(鳥根)
茨城師教諭 ×松本次三郎(群馬)
靜岡榛原中教諭 △村上 清(京都)

◎大正四年 撰 科

東京帝大文科大學生 (英語) 池 端 榮(靜岡)
兵庫姫路中教諭 (數學) 佐々木 猪之松(岡山)
兵庫柏原中教諭 (修身、教育) 佐々木 英雄(鳥根)
山形莊内農教諭 (修身、教育) 佐藤善八郎(山形)
宮城一高女教諭 (修身、教育) 高野 潮 露(新潟)

◎大正四年 本 科

五月卒業 地理歴史部 △吉澤 俊一(長野)
茨城師教諭 數物化學部 △佐野 熊吉(高知)
神奈川橫須賀中教諭 博物學部 △清水 茂(長野)
大分女師教諭
◎大正四年 本 科
十二月卒業 英語部

宮城仙臺二中教諭 國府田 國一(茨城)

◎大正五年 研究科(二箇年)

三月卒業 三重四日市高女教諭 ×奥村卯之助(茨城)
鹿兒島師教諭 ×佃井久滿治(大阪)

◎大正五年 研究科

東京一中教諭 ×海 村 滿(靜岡)
高知海南中教諭 ×神吉久兵衛(長崎)
長野私立松本商教員 ×境 野 晋(宮城)
茨城師教諭 ×鈴木正秋(群馬)
福岡小倉中教諭 ×高井 憲夫(群馬)
和歌山新宮中教諭 ×竹内 正義(福井)
東京高師助教諭 ×田中啓爾(福岡)
東北帝大理科大學生 ×長 尾 巧(福岡)
北海道函館區教育課長 ×湯本倉之助(東京)

◎大正五年 本 科

三月卒業 國語漢文部
大阪市南區精華尋小訓導 ×赤塚吉次郎(三重)
長崎師教諭 △阿保 謙二(三重)

東京三高女教諭 △荒川修一郎(茨城)
京都二高女教諭 △石田 春 昭(鳥根)
東京一高女教諭 △石塚 好 忠(茨城)
鹿兒島川邊中教諭 △伊藤 源 作(長崎)
鳥根師教諭 ×宇 波 耕 策(富山)
岐阜女師兼加納高女教諭 △神 原 克 重(千葉)
栃木宇都宮高女教諭 △日下部 武 夫(千葉)
京都帝大法科大學生 ×島 岡 利 二(群馬)
鳥根女師教諭 ×清 水 實(富山)
佐賀鹿島中教諭 △角 南 元 一(岡山)
長野松本中教諭 ×橋 岡 一 夫(兵庫)
熊本熊本實科高女教諭 ×長 岐 朗 吉(秋田)
愛媛師教諭 △林 傳 次(福井)
京都帝大法科大學生 △深田 榮 次郎(新潟)
秋田縣視學 △藤 村 寛 太(福岡)

(死亡)

愛知一宮町高女教諭 △丸 山 源 六(栃木)
樺太豊原高女教諭 ×村 上 章 治(栃木)
千葉千葉高女教諭 △森 重 豊(大分)
茨城水海道中教諭 △矢 澤 倉 次(群馬)
△綿 引 惣 吾(茨城)

大分許集中教諭
長崎五島中教諭
神奈川二横濱中教諭
栃木佐野中教諭
東京四中教諭
青森師教諭
佐賀鹿島中教諭
兵庫一神戸中教諭
福井師教諭
福岡朝倉中教諭
千葉佐原中教諭
東京三中教諭
岐阜師教諭
福井福井中教諭
熊本鹿本中教諭
三重四中教諭
奈良郡山中教諭
奈良郡山中教諭
福島師教諭

△足立宗治(兵庫)
○奥山雄藏(北海道)
△笠島信太(福井)
△劍持確麻呂(廣島)
△小泉市郎(香川)
○佐藤正治(福島)
△神英二(北海道)
×邊崎雅治(宮城)
○茶谷茂(兵庫)
△遠山利八(香川)
△中原千代藏(福岡)
×中村龍男(東京)
○長谷川誠治(愛知)
△花田康三(静岡)
×林博(岐阜)
△藤原茂(岡山)
△益田道三(和歌山)
×山崎英一(埼玉)
△吉田寅雄(京都)
△渡部乙彦(福島)

滋賀師教諭
關東大連中教諭
東京荏原郡入新井小校長
東京豊島師教諭
東京豊島師教諭
京都師教諭
愛媛師教諭
静岡静岡中教諭
青森女師兼青森高女教諭
福井師教諭
石川一高女教諭
兵庫御影師教諭
青森師教諭
愛媛女師教諭
群馬沼田中教諭

○石塚多(長野)
×大野詳毅(高知)
×川口源司(千葉)
△木下一雄(東京)
△佐藤保太郎(山形)
△杉本勇三(静岡)
△中川一男(和歌山)
△芳賀剛吉(山形)
×濱岡興一(石川)
×福田定美(長野)
△松田金五郎(福井)
○松本從之(兵庫)
△前田元次(佐賀)
△三木英太郎(愛媛)
△吉田保治(群馬)

數物化學部
長野松本中教諭
愛媛女師教諭
大分中津中教諭
鹿兒島師教諭
兵庫二神戸中教諭

△岩波喜代登(長野)
△葛西喜徳右衛門(岩手)
×久保田万造(福岡)
△近藤永太郎(新潟)
×佐々木克己(鳥取)

地理歴史部

愛知一師教諭
東京高師助教兼訓導
神奈川師教諭
學習院助教
一年志願兵
茨城土浦中教諭
大阪堺中教諭
神奈川二横濱中教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)
△天野健二郎(三重)
△伊藤一(静岡)
△岩永源作(福井)
△太田滋雄(長野)
△川添正雄(岐阜)
○萱島徳(大分)
×黒住豊太(岡山)
○小山寅(神奈川)
△佐々木豊藏(北海道)
×眞田範衛(静岡)
×杉山隆二(岐阜)

静岡静岡師教諭
廣島廣島中教諭
臺灣總督府工教諭

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)
博物學部
岡山師教諭
岡山岡山高女教諭
和歌山師教諭
栃木眞岡中教諭
群馬館林實高女教諭
千葉師教諭
廣島師教諭
大阪市高津尋小訓導

○園田軍平(大分)
△立花秀雄(富山)
△中井政吉(福井)
△矢野速吉(鳥根)
×甘甲美智雄(群馬)
△石川重一(廣島)
△柏木廣吉(静岡)
△栗岡龜治(兵庫)
×小和田雄三郎(栃木)
○中川完一(福井)
△濱上實作(福岡)
△牧千葉三(大分)
△山元要(滋賀)

女子學習院助教
東京私立南高輪小訓導
愛知名古屋一高女教諭
廣島高師助教

△今井熊太郎(青森)
×小會恒司(千葉)
×太田七五三(岐阜)
×小菅傳吉(滋賀)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正五年)

愛知一師教諭
長崎師教諭
宮城師教諭
島根師教諭
埼玉師教諭
茨城龍ヶ崎中教諭
佐賀師教諭
關東大連高女教諭
徳島女師兼高女教諭
茨城師教諭

(以上體操ヲ主トスル者)

東京高師囑託
熊本私立九州學院教員
米國ペンシルバニア大學生
千葉水更津中教諭
鳥取米子中教諭
南滿洲鐵道株式會社員
島根濱田中教諭
福岡中修館館教諭
徳島梅養中教諭
長野松本中教諭

古地英吉(千葉)
白戸紋之丞(青森)
須賀田三郎(茨城)
苗村茂(石川)
平田直義(愛媛)
細野伊勢吉(埼玉)
松尾重壽(鳥取)
水野谷初美(福島)
箕村益二(徳島)
茂木定株(山形)

茨城筑波郡小田尋
高小訓導兼校長
島根杵築中教諭

(以上柔道ヲ主トスル者)

大阪天王寺師教諭
新潟新潟中教諭
北海道函館西教諭
東京市忍岡尋小訓導
東京高師助教兼助教諭
千葉千葉中兼師教諭
高知海南中教諭

(以上剣道ヲ主トスル者)

愛媛八幡濱商教諭
山形新庄中教諭
東洋汽船株式會社員
滋賀女師教諭

守分伊佐美(岡山)
渡部邦藏(島根)
安東金(岡山)
伊能重雄(東京)
小山弘房(熊本)
齋藤庸清(青森)
古澤住伊(福島)
松谷誠作(千葉)
増田正雄(千葉)
松村素夫(熊本)
森田文十郎(埼玉)
山本名置(高知)

東京高師助教諭
水野彌作(長野)

大正五年六月卒業本科
英 語 部
宮原 治(福岡)

大正五年七月卒業撰科
(數學) 石井 剛(神奈川)
(教育、數學) 宇多川 律平(鳥取)

大正六年三月卒業研究科(二箇年課程)
本校專攻科生
山梨師教諭
滋賀女師兼大津高女教諭
静岡静岡中教諭
長崎長崎高女教諭

石川 謙(愛知)
中島盛一(熊本)
梨谷靜芳(富山)
芳賀剛吉(山形)
吉本克己(高知)

宮城佐沼中教諭
岡山岡山中教諭
青森青森中教諭
東京市外手町小訓導
京都南桑田郡高女教諭
石川金澤二中教諭
廣島吳中教諭

(修身、教育)
(修身、教育、手工)
(教育、手工)
(修身、教育)
(修身、教育、數學)
(修身、教育、化學)
(教育、化學)

佐藤政一(愛知)
岡 清一郎(静岡)
田中卯一郎(山形)
東條欣一(徳島)
林 弘 信(香川)
原 田 美馬(岡山)
増井太郎(東京)

大正五年五月卒業本科
英 語 科

静岡藤原中教諭
岐阜大垣中教諭
奈良師教諭

博物學部
千葉安房高女教諭

大正五年五月卒業體操專修科(柔道ヲ主トスルモノ)
山口室積師教諭

大正五年五月卒業研究科(二箇年課程)
齋藤秀喜(熊本)

東京高師助教諭
大正五年六月卒業本科
英 語 部
宮原 治(福岡)

大正五年七月卒業撰科
(數學) 石井 剛(神奈川)
(教育、數學) 宇多川 律平(鳥取)

大正六年三月卒業研究科(二箇年課程)
本校專攻科生
山梨師教諭
滋賀女師兼大津高女教諭
静岡静岡中教諭
長崎長崎高女教諭

石川 謙(愛知)
中島盛一(熊本)
梨谷靜芳(富山)
芳賀剛吉(山形)
吉本克己(高知)

○大正六年本
三月卒業本科

國語漢文部

長野上田中教諭
京都帝大文科大學生
山口山口師教諭
愛媛師教諭
静岡師教諭
京都帝大文科大學生
兵庫豊岡中教諭
長崎女師教諭
鹿兒島師教諭
奈良五條中教諭
香川大川中教諭
千葉成東中教諭
米國留學中
長野松本中教諭
神尾師教諭

△青木榮藏(愛知)
△顯原退藏(長崎)
△小野正康(香川)
△大西一治(兵庫)
△甲藤義治(高知)
△加藤徹治(愛知)
△加藤仁平(愛知)
△龜山相次(岡山)
△柴原銀二(福井)
△坂上一郎(岡山)
△關本榮吉(奈良)
△丹直能(茨城)
△時下米太郎(福岡)
△南雲正次(新潟)
△信田靜夫(廣島)
△福永勝盛(宮崎)
△保正角次郎(滋賀)
△宮本傳藏(青森)

(死亡)

大阪野村家教育顧問
福岡嘉穂中教諭
福岡八女中教諭

英語部

佐賀師教諭
長野松本中教諭
京都二高女教諭
兵庫私立中學鳳鳴義塾教員
静岡静岡商教諭
神奈川小田原中教諭
長野松本中教諭
山梨師教諭
鳥取鳥取中教諭
長崎師教諭
愛媛松山中教諭
廣島廣島中教諭
千葉千葉高女教諭
本校研究科生
兵庫神戸神港商教諭
京都帝大法科大學生
佐賀佐賀中教諭

△山内藤馬(山形)
△山田秀雄(熊本)
△山本伴郎(富山)
△阿保剛三(三重)
△石貫昌隆(熊本)
△猪口福助(徳島)
△内田金平(静岡)
△岡本彰(山口)
△神津省三郎(長野)
△黒崎晋介(東京)
△小林權一郎(神奈川)
△左右田實(京都)
△佐取亮吉(栃木)
△湛辰平(熊本)
△野村繁(茨城)
△久村潔(滋賀)
△福原麟太郎(廣島)
△三笠新(福岡)
△森岡榮(岡山)
△米倉信晴(佐賀)

福岡小倉中教諭
地理歴史部

兵庫二神戶中教諭
京都二高女教諭
大阪市道仁尋小訓導
大分大分中教諭
兵庫神戸市高女教諭
岡山岡山中教諭
本校研究科生
東京帝室博物館員
石川七尾町商教諭
長崎師教諭
文部局
京都帝大文科大學生
滋賀彦根中教諭
福井師教諭
北海道函館師教諭
秋田女師教諭
朝鮮京城中教諭

△渡部利三郎(愛媛)
△伊倉健治(静岡)
△石井逸太郎(熊本)
△磯野利夫(福岡)
△北川外吉(富山)
△清田綾藏(大分)
△久保田眞(山梨)
△栗原寅治郎(滋賀)
△後藤富司(茨城)
△後藤守一(静岡)
△佐藤龍藏(長野)
△四角誠一(香川)
△菅原信治(岩手)
△田中一郎(千葉)
△田中傳吾(茨城)
△友納養徳(福岡)
△藤木義平(愛媛)

數物化學部

石川傳三郎(北海道)
岩切晴二(宮崎)

東京一高女教諭
香川大川中教諭
岩手師教諭
福岡福岡中教諭
長野師教諭
群馬師教諭
埼玉川越中教諭
新潟柏崎中教諭
愛知女師兼二高女教諭
熊本天草中教諭
熊本二師教諭
愛知二師教諭
京都二高女教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)

三井鑛山研究部員
長崎佐世保中教諭
兵庫姫路中教諭
一年志願兵
京都帝大理科大學生
東京高師助教授兼訓導
兵庫姫路中教諭

△岩間綠郎(青森)
△今井盛太郎(香川)
△及川規(岩手)
△幸田甫(鳥取)
△熊澤信二(兵庫)
△助川己之七(福岡)
△鍋島信太郎(和歌山)
△頼田登(和歌山)
△福山重雄(兵庫)
△福樂喜信(鳥取)
△森安茂一(香川)
△山本政治(兵庫)
△余田靜馬(兵庫)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正六年)

本校研究科生

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

博物學部

廣島尾道市高女教諭
千葉成東中教諭
宮城佐沼中教諭

山形女師兼山形高女教諭

東京市江東尋小訓導

兵庫姫路師教諭

東京帝大理科大學生

佐賀小城中教諭

大正六年 體操專修科

千葉女師教諭
滋賀彦根中教諭
大阪堺中教諭
福島磐城中教諭
廣島師教諭
愛知名古屋市三高小訓導
鳥取鳥取中教諭

福岡福岡教諭

靜岡女師教諭

靜岡掛川中教諭

關東旅順中教諭

東京市日本橋高小訓導

熊本女師教諭

千葉師教諭

福岡小倉師教諭

東京四中教諭

長崎私立鐘西學院教員

靜岡靜岡師教諭

熊本二師教諭

北海道函館師教諭

(以上體操ヲ主トスルモノ)

一年志願兵
廣島師教諭
大阪岸和田中教諭
大阪天王寺中教諭
愛媛宇和島中教諭
本校研究科生

瀨知通太(福岡)
對馬助五郎(青森)
中村好藏(山口)
治田久雄(群馬)
船田哲(栃木)
增田清次郎(千葉)
三橋義雄(鳥取)
宮田覺造(茨城)
三好貫二(福岡)
森秀(徳島)
山口直一(長崎)
山脇二郎(徳島)
吉木幸三郎(福岡)
吉永義孝(福岡)
遠藤力雄(宮崎)
大久保屯(鹿兒島)
木村直(大分)
越川助三郎(千葉)
小林秀雄(千葉)
櫻庭武(秋田)

新潟新發田中教諭

鳥取師教諭

東京高師囑託

米國留學中

富山師教諭

(以上柔道ヲ主トスルモノ)

大阪岸和田中教諭

一年志願兵

富山師教諭

本校研究科生

福島磐城中教諭

鳥取倉吉中教諭

(以上劍道ヲ主トスルモノ)

大正六年 三月卒業 撰科

廣島福山中教諭
兵庫保高女教諭
福井大野中教諭

大正六年 五月卒業 體操專修科

渡邊一夫(愛知)

大正六年 五月卒業 研究科

米國ペンシルバニア大學生
東京高師囑託
東京私立瀧邊協中教員
米國留學中
東京高師囑託

大正七年 三月卒業 研究科

東京三高女教諭
文部省囑託
群馬太田中教諭
本校專攻科生
東京高師助教授兼訓導
長野松本小校長

荒川修一郎(茨城)
糸賀國次郎(山梨)
小野三郎(茨城)
四宮茂(徳島)
内藤卯三郎(神奈川)
早川千尋(長野)
林博(岐阜)

三重四日市高女教諭
埼玉師範託
和歌山師範託
大阪市野村家教育顧問

樋口利一(長野)
二股卓爾(京都)
水谷久吉(和歌山)
山内藤馬(山形)
山本源之丞(滋賀)

埼玉私立埼玉中教員
宮城師範
本校專攻科生
群馬高崎高女教諭
佐賀師範
兵庫二神戶中教諭
岡山師範
鹿兒島川内中教諭
本校研究科生
東京女高師訓導
東京三中教諭

鳥崎進(東京)
中川秀松(秋田)
原房孝(山梨)
平井孝一(静岡)
菅木謙治(新潟)
藤井爲博(山口)
藤田哲二(兵庫)
村上俊象(熊本)
森田虎次郎(鳥取)
山岸德平(新潟)
波邊龜吉(大分)

◎大正七年
三月卒業本科

國語漢文部

神奈川私立横濱實高女教諭
愛知二師教諭
東京高師囑託
東京高師囑託
京都師範
北海道函館中教諭
靜岡師範中教諭
本校研究科生
愛知田原町中學成章館教諭
鹿兒島二鹿兒島中教諭
鳥取米子中教諭
青森青森高女兼女師教諭
愛媛松山中教諭

有原末吉(熊本)
石田茂作(愛知)
岩井良雄(千葉)
岩田九郎(大分)
岩本朝次(京都)
浦部龜雄(群馬)
遠藤佐市郎(静岡)
大木正治(千葉)
影山岩男(愛知)
河西健兒(長野)
片山久(福岡)
齋藤善太郎(山形)
佐藤安一(徳島)

英語部

大阪市岡中教諭
佐賀鹿兒島中教諭
福島師範
鹿兒島一鹿兒島中教諭
福岡小倉中教諭
兵庫一神戶中教諭
長野長野高女教諭
青森青森高女兼女師教諭
愛媛師範教諭

井上正右衛門(福岡)
小田千秋(和歌山)
河合由藏(岐阜)
勝部顯一(鳥根)
近藤不二彦(三重)
指原好雄(大分)
鈴木謙一郎(愛知)
田中辰治(福井)
萩原千代吉(廣島)

北海道函館商教諭
熊本鹿本中教諭
北海道函館師範教諭
長野松本中教諭
福島福島中教諭
群馬太田中教諭
熊本二師教諭
高知一中教諭
長野飯田中教諭

舟橋幾之介(茨城)
正井暉雄(兵庫)
水池梶四郎(兵庫)
村上剛(福岡)
百瀬甫(長野)
森川立也(秋田)
森廣美(宮崎)
安川彦五(長野)
山村保三(京都)

愛知一師教諭
北海道室蘭中教諭
秋田師範
福岡福岡師範
福岡中修館教諭
福井師範
福岡女師教諭
鳥根女師教諭
兵庫姫路中教諭
長野松本中教諭
廣島三原女師教諭
(以上數學物理ヲ主トスルモノ)

古賀軍治(兵庫)
佐藤桃吉(山形)
高村典三(石川)
田中保房(新潟)
山田政長(愛媛)
中川千之助(兵庫)
二階堂春夫(岡山)
服部汪(岡山)
林獅子三(廣島)
武藏倉治(秋田)
渡邊富久治(北海道)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正七年)

地理歴史部
高知師範
奈良郡山中教諭
佐賀佐賀中教諭
佐賀鹿島中教諭
本校研究科生

豊井治平(静岡)
岩田耕作(千葉)
富田玄彌(山形)
豊田一良(島根)
橋本辰彦(熊本)

東北帝大理科大學生
東京高師囑託
群馬女師教諭
東京高師囑託
栃木師範
熊本二師教諭
福岡中修館教諭
長崎師範

小野田忠(福島)
大久保準一(兵庫)
大瀧圭一(千葉)
大淵勇太郎(秋田)
金子英雄(長野)
木暮一(群馬)
段野外吉(富山)
廣野友七(青森)
古谷國太郎(山梨)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

博物學部

- 朝鮮平壤女高普教諭
- 福島師教諭
- 福島喜多方中教諭
- 本校研究科生
- 兵庫姫路中教諭
- 福島磐城中教諭
- 愛媛宇和島高女教諭
- 鹿兒島女師教諭
- 高知師教諭
- 愛知一宮町高女教諭

◎大正七年三月卒業 體操專修科

- ×梶原梅次郎(佐賀)
- ×田上政敏(熊本)
- ×綱島定治(岡山)
- ×野村七平(千葉)
- ×濱田源二(愛知)
- ×宮地勝二(廣島)
- ×安村外(石川)
- ×山川鉄三郎(三重)
- ×山・田英一(和歌山)
- ×深井米次郎(香川)

◎大正七年五月卒業 本 科

- 宮城白石中教諭 (化學) 稻田 貢(兵庫)
- 大阪南河内郡河 (物理) 岩本春市(山口)
- 南高女教諭 (數學) 内田忠一郎(大阪)
- 本校研究科生 (國語、漢文) 鈴木銀次郎(神奈川)
- 三重女師教諭 (數學) 谷口嘉郎(三重)
- 東京私立東京中教諭 (國語、漢文) 中村 好(鳥取)
- 兵庫二神戶中教諭(教育、數學) 野口國太郎(福岡)
- 三輪 榮(岡山)
- 岡山岡山中教諭 國語漢文部 △久米保衛(香川)
- 英語部 △中村善士(山形)
- 青森弘前中教諭 數物化學部(物理化學ヲ主トスルモノ)
- 神奈川小田原中教諭 ×澁谷壽光(神奈川)
- 山梨甲府中教諭 ×三屋秋策(東京)
- ◎大正七年五月卒業 體操專修科(劍道ヲ主トスルモノ)
- 富山高岡中囑託 ×菊原波門(熊本)

◎大正七年七月卒業 體操專修科

- 栃木師教諭
- (以上體操ヲ主トスルモノ)
- 廣井家太(東京)
- 長野大町中教諭
- (以上劍道ヲ主トスルモノ)
- ×篠 無長雄(熊本)
- ◎大正七年九月卒業 研究科
- ×田中一郎(千葉)
- 京都帝大文科大學生

第三 特別學生及外國學生卒業者(聽講生ヲ含ム)

例 凡

- 本英——本科英語部
- 本地歷——本科地理歷史部
- 本數物——本科數物化學部(數物主)
- 本物化——本科數物化學部(物化主)
- 本博——本科博物學部
- 撰——撰科
- 研——研究科

○明治四十一年卒業聽講生

- (教育、地理、西洋史) 許 壽 雲(浙江)
- (教育、植物、動物) 章 毓 蘭(浙江)
- (教育、地理、西洋史) 錢 家 治(浙江)
- (教育、植物、動物) 談 錫 鳳(湖北)

○明治四十二年卒業聽講生

- (教育、化學) 陳 英 才(湖北)

(教育、化學)

(倫理、數學、物理、手工)

- 毛 邦 華(浙江)
- 張 膺 震(朝鮮)
- 張 邦 偉(貴州)

○明治四十三年卒業聽講生

- (法製經濟) 王 海 鏡(直隸)
- (數學) 黃 際 遇(廣東)
- (化學) 朱 文 熊(江蘇)
- (植物、動物、生理衛生、農學) 陳 衡 格(江西)

第七章 卒業生 特別學生及外國學生卒業者

(化學)
(地理、西洋史、法制經濟)

○明治四十四年特別學生

鄧瑞榮(廣東)
陶履恭(直隸)

○明治四十四年外國學生

王 修(福建)
何 瑛 先(福建)
牛 寶 善(直隸)
經 亨 顧(浙江)
黃 恭 憲(湖北)
洪 彥 遠(浙江)
任 貽 誠(江蘇)
張 貽 惠(安徽)
杜 貽 蘭(廣東)
鳳 高 蕙(湖南)
彭 世 芳(江蘇)
葉 世 謙(浙江)
楊 昌 蔚(湖北)

撰(物理、化學)
本物化

撰(倫理、教育、地理、歷史)

撰(植物、動物、生理衛生、農學)

○明治四十五年外國學生

楊立奎(安徽)
劉以鐘(浙江)
劉煥(直隸)
林元喬(福建)
林道容(福建)
謝之齡(江蘇)
舒繼之(湖南)
曾霖(湖南)
曾霖(湖南)
孫炳(浙江)
孫炳(浙江)
戴家瑛(湖北)
陳映瑛(湖北)
趙家瑛(湖北)
鄧錫(湖南)
唐錫(湖南)
唐錫(湖南)
楊茂杰(湖南)

○大正二年特別學生

撰(數學) 金亨培(朝鮮)
撰(數學) 鄒大鉉(朝鮮)

○大正二年外國學生

王 喆(直隸)
康 燿 宸(陝西)
陳 浩 年(山西)
張 本 劍(雲南)
薛 德 煥(江蘇)

○大正三年外國學生

王 壽 彭(江西)
金 之 鍾(直隸)
吳 家 鎮(湖南)
蔣 拱 辰(江蘇)
焦 樹 榮(直隸)
郝 樹 人(直隸)
張 維 棋(直隸)
張 遠 蔭(四川)

○大正四年外國學生

本博 張仁輔(直隸)
本地歷 馬春芳(奉天)
本數物 楊若瑩(四川)
本英 雷通群(廣東)
本物化 李鑑(直隸)

本博 王其涵(貴州)
本英 王善基(江西)
本英 王善基(江西)
撰(數學) 歐陽祖經(江西)
本物化 賈觀(江西)
撰(修身、教育) 賈觀(江西)
本物化 韓定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)
本英 姜定生(直隸)

第七章 卒業生 特別學學生及外國學生卒業者

本英 撰(修身、教育) 田 健 章(直隸)

本物化 鄧 香 功(四川)

本地歷 鄧 萃 英(福建)

馬 冠 標(直隸)

馬 炳 變(直隸)

楊 若 筵(四川)

李 村(廣東)

撰(修身、教育) 林 炳 燭(福建)

本數物 林 兆 燕(福建)

撰(動物) 林 兆 燕(福建)

撰(數學) 權 永 壽(朝鮮)

○大正五年特別學生

○大正五年三月卒業外國學生

王 維 藩(直隸)

艾 華(貴州)

賀 孝 齊(四川)

何 禮 超(廣東)

何 禮 賢(廣東)

黃 廷 珣(廣東)

戎 昌 驥(浙江)

本博 撰(修身、教育、化學)

本英 撰(化學)

本物化 撰(植物、農學)

撰(數學) 權 永 壽(朝鮮)

撰(數學、物理) 池 尙 同(浙江)

撰(數學、物理) 陳 有 方(廣東)

撰(植物、動物、農學) 張 永 樸(直隸)

撰(數學、物理) 張 庭 芝(直隸)

○大正六年特別學生

○大正六年三月卒業外國學生

艾 華(貴州)

胡 國 鏞(安徽)

吳 祥 麒(浙江)

戎 昌 驥(浙江)

徐 廷 璵(直隸)

池 尙 同(浙江)

陳 仲 克(廣東)

張 安 國(廣東)

張 國 光(湖北)

羅 國 是(貴州)

李 貽 燕(福建)

本英 撰(數學)

撰(數學、物理) 池 尙 同(浙江)

撰(植物、動物、農學) 陳 有 方(廣東)

撰(數學、物理) 張 庭 芝(直隸)

撰(化學) 康 秉 鍵(朝鮮)

撰(數學) 李 良 楷(廣東)

撰(植物、動物、農學) 梁 心(廣東)

本數物 梁 貫(廣東)

○大正七年特別學生

○大正七年三月卒業外國學生

周 毓 莘(江蘇)

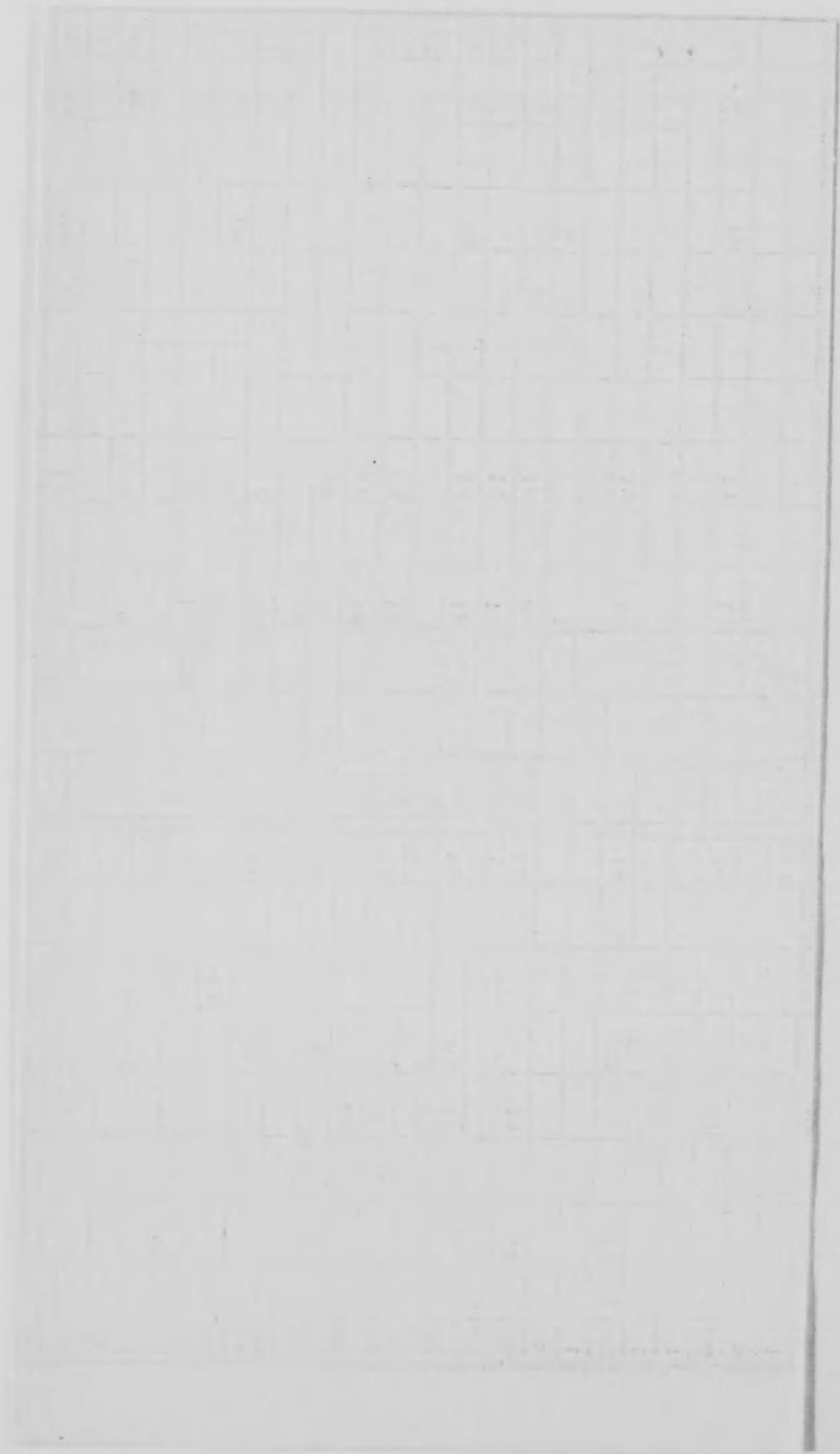
張 安 國(廣東)

張 廷 棟(江西)

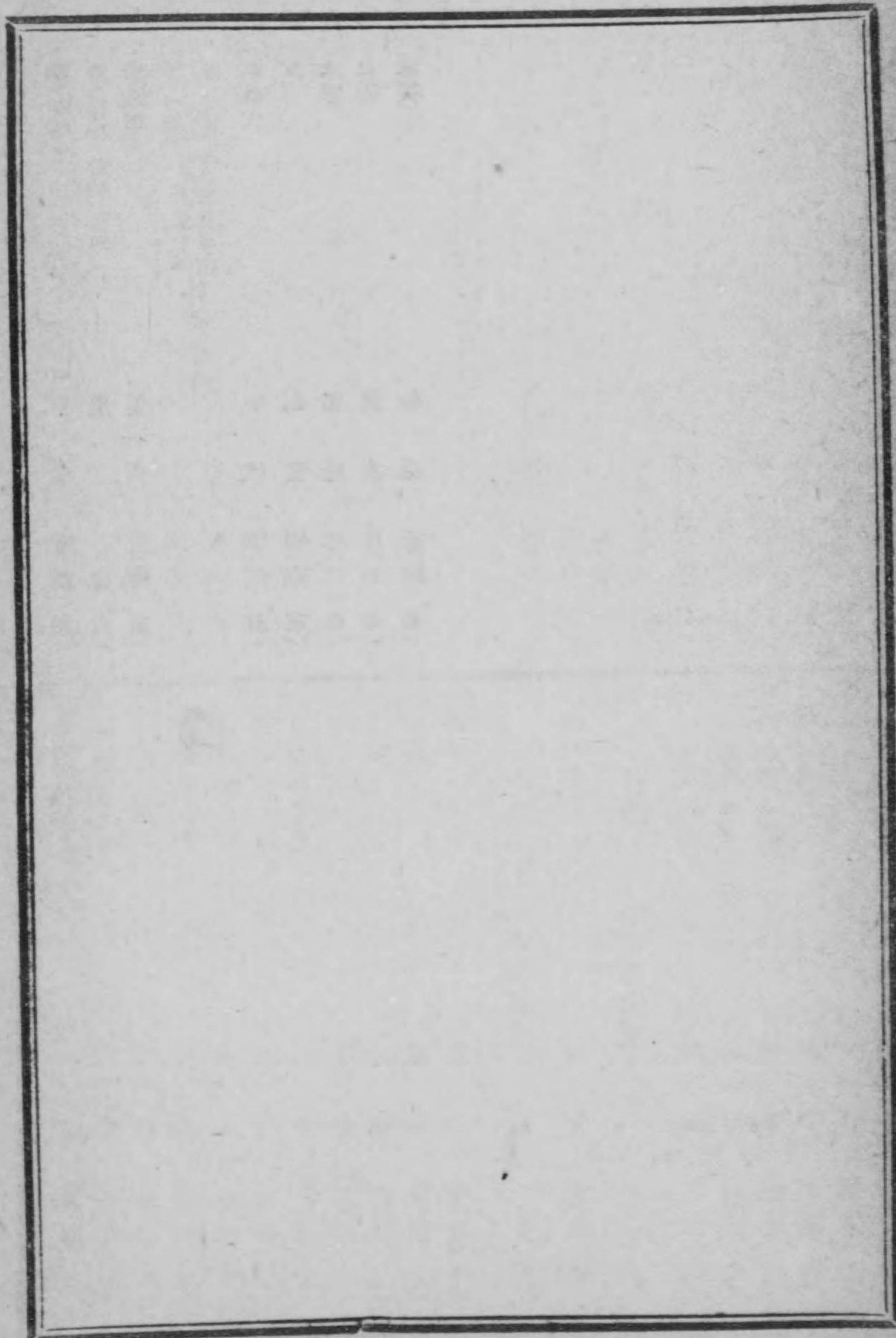
劉 次 蕭(山東)

林 碼 雷(廣東)

第七章 卒業生 特別學生及外國學生卒業生



五八六



七七六

附 錄

第一 大正七年三月本校卒業證書授與式

一 文部大臣祝辭

東京高等師範學校爰ニ卒業證書授與ノ式ヲ舉ケ我カ教育界更ニ幾多新進ノ人材ヲ加フ本大臣深ク之ヲ喜フ

卒業生諸子諸子ノ是ヨリ從事セントスル所ハ國民教育ノ源泉タル師範教育ニアラスンハ國民ノ中堅ヲ育成スル高等普通教育ニシテ其隆汚ノ關スル所至重至大ナリ然リ而シテ之カ振興ハ一ニ教師其ノ人ノ力ニ埃ツ諸子ノ任亦重シト謂フヘシ顧フニ我カ國今ヤ振古未曾有ノ時局ニ遭遇シ百般ノ事更張振作ヲ要スルモノ極メテ多ク各種ノ方面ニ涉リテ適材ヲ求ムルコト極メテ切ナリ是正ニ材幹アルモノ、振ツテ其ノ全力ヲ職トスル所ニ注クヘキノ時タリ諸子冀ハクハ常ニ教育カ國本培養ノ第一義タルヲ念ヒ自家ノ責任ノ重大ナルヲ自覺シ一意専心天職ヲ完ウシテ其ノ效果ヲ實際ニ舉ケ以テ本校教養ノ趣旨ニ副ハンコトヲ是レ國家カ

諸子ニ期待スル所ニシテ亦諸子カ身ヲ立テ業ヲ成ス所以ナリ諸子夫レ之ヲ勉メヨ
附屬中學校卒業生諸子諸子ハ本校ニ於テ既ニ高等普通教育ノ科程ヲ卒ヘタリ今ヨリ以往之
ヲ基礎トシテ益々心ヲ智徳ノ修養ニ潜メ力ヲ其ノ志ス所ニ致シ各々其ノ本分ヲ完ウスルニ
於テ遺憾ナカラシムコトヲ期セヨ
之ヲ祝辭トス

二 校長告辭

本校卒業生諸子 諸子ハ今本校所定ノ業ヲ卒ヘテ普通教育ノ實務ニ當ル資格ヲ得タ現時社
會ノ狀況ヲ見ルニ思想界ニハ種々ノ混亂アリ一般生活ノ上ニハ奢侈遊惰ノ風アルコトハ否
定スルコトガ出來ヌ殊ニ今日我が國ハ空前ノ重大ナル時局ニ際會シテキテ今後ノ成行ニヨ
ツテハ如何ナル苦境ニ陥ルカモ知レヌ豫メ之ニ備ヘルニハ國民舉ツテ各自ノ業ニ勵ミニ致
協力シテ皇國ノ運命ヲ負擔スル覺悟ガ無ケレバナラヌ國民ヲシテ常ニ此ノ如キ覺悟ヲ持タ
セ我が國ノ歴史ニ基ツイテ統一シタル國民思想ヲ確立シ誠實勤儉ノ美風ヲ養ヒ學術技藝ノ
研究進歩ヲ促シ國力ノ充實ヲ圖ルコトハ實ニ諸子ノ任務デアアル諸子ハ在學中此等ノ任務ニ
堪ヘル丈ノ修養ヲ積ンダコト、信ズル向後益研鑽ヲ怠ラズ十分ニ各自ノ力ヲ發揮スルコト
ヲ勉メヨ

附屬中學校卒業生諸子 諸子ハ國家多事ノ秋ニ當リ各自ノ志ス所ノ方面ニ向ツテ進ムタメ
是カラ眞面目ニ準備ニ取掛ラネバナラヌデアアルソレニハ諸子ガ在學中養ハレタ精神ニ基
ツイテ最モ適當ナル道ヲ擇ビ努力セネバナラヌ今日ニ於テ採ルベキ道ヲ誤ツタナラバ他日
悔ユルトモ詮ナイ事ニナルデアアル今日ニ努力ヲ怠ル時ハ他日十倍ノ努力ヲシテモ之ヲ償

フコトハ出來ヌ諸子ガ聊ノ油斷モナク奮勵スベキハ實ニ此時ニ在ルノデアアル諸子深ク戒メ

三 學事報告

本日卒業證書授與式ニ當リ本學年ニ於ケル當校學事ノ特殊ナル事項ニ就キテ左ニ其ノ大要ヲ報告ス

第一本校

(一) 卒業生

今回本校ヲ卒業スヘキ者ハ

研究科	十二名
本科	八十二名
専修科	三名
撰科	八名
外國學生 (支那人)	五名

合計百十一名ニシテ之ヲ創立以來ノ卒業者ニ通算スレハ其ノ數實ニ四千百五十三名ノ多キニ達セリ

(二) 生徒

本學年ニ於テハ文科生七十一名理科生五十六名研究科生三十七名特別學生三名外國學生二
 十一名ヲ入學セシメタリ
 來學年ニ於テハ文科生七十名理科生五十七名研究科生三十名外國學生八名ヲ入學セシムル
 豫定ニシテ尙修身教育專攻科生及體育科生ヲ募集スル計劃ナリ
 今回卒業スヘキ者ヲ除キ本校生徒ノ現在數ハ四百四十二名ニシテ之ニ來學年ニ於テ入學セ
 シムヘキ者百六十五名ヲ加フレハ來學年ノ始メニ於ケル本校生徒ハ六百七名トナルヘキ豫
 定ニシテ其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

研究科	三十五名
本科(舊規則ニ依レルモノ)	十二名
文科	二百六十五名
理科	百七十八名
體育科	二十三名
專修科	三名
撰科	三名
特別學生(朝鮮人、臺灣人)	六名

外國學生(支那人)

八十二名

(三) 教授

本校ニ於テハ所定ノ學科ノ外實驗實習ヲ課シ修學旅行等ニヨリテ實地ノ研究觀察ヲ遂ケシ
 メ又講演會ヲ開キテ社會各般ノ知識ヲ與ヘ休日等ヲ利用シテ官衙工場等ヲ見學セシメカメ
 テ社會ノ實際ニ觸レシメンコトヲ期セリ

(四) 訓練

本校ニハ生徒監一名生徒監補助五名アリテ專ラ生徒訓育ノ任ニ當レリ
 本校寄宿舎ハ校友會各部ノ組織ニ一致セシメテ室員ヲ配置シ校友會各部ノ主事ヲ寄宿舎參
 事トシ主事委員ハ其ノ部員ヲ率キテ相砥礪シ校友會幹事ヲ寄宿舎理事トシ校友會幹事ハ又
 各部主事委員ヲ率キテ一般ノ統轄管理ニ當リ身體鍛鍊ノ便宜ヲ圖ルト共ニ自ラ治ムルノ精
 神ヲ涵養セシムルニ努メシカ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ但シ豫科ハ之ヲ三部ニ分チ各
 部室長中ヨリ其ノ部參事二名ヲ互選シテ校友會ノ部組織ニ準スルコト、セリ而シテ體育科
 生ハ之ヲ第七寮ニ收容セリ
 寄宿舎ノ設備年々整頓シテ舊來ノ面目ヲ一新シタレトモ猶其ノ不備ヲ感スルハ圖書室、會
 議室等ノ設備不十分ナルト寮舎ノ狹隘ニシテ體育科生ヲモ同一構内ニ收容スル能ハサルト

ナリ
(五) 講習會

本校ハ卒業生ノ學力ヲ補充シ其ノ勤務上ノ指導ヲ爲サンカタメ毎年卒業生講習會ヲ開クコトヲ例トシ本學年ニ於テハ物理科(三回)及英語科(一回)ヲ講習シ其ノ修了者物理科百十六名英語科二十八名ヲ出セリ之ニ既往ノ修了者ヲ合算スレハ其ノ數四百八十七名ニ達セリ本講習會ハ主トシテ本校卒業生ヲ召集シテ講習スルヲ趣旨トスレトモ當該學科ニ就キテ師範學校中學校高等女學校ノ教員免許狀ヲ有スル者ハ志望ニ依リテ特ニ入會スルコトヲ許シタリ

文部省ノ委囑ヲ受ケテ本校内ニ開催セル中等諸學校教員講習會ハ本學年ニ於テハ前後二回ニシテ柔道及劍道、數學ノ諸科ヲ講習シ其ノ修了者合計二百十二名ヲ出セリ之ニ既往ノ講習會ヲ通計スレハ二十八回ニシテ講習修了者ノ數實ニ三千三百七十四名ノ多キニ達セリ

(六) 校友會

校友會ハ其内容年々整頓完備シ各部ノ發展著シキモノアリ特ニ極東選手權競技大會并ニ大日本體育協會主催東西聯合競技大會ニ會員ヲ出演セシメテ多數ノ優勝者ヲ出シタルト陸上大運動會ニ際シ九殿下台覽ノ光榮ヲ辱ウシタルトハ共ニ本會ノ誇トスル所ナリ

本學年ニ於テ本會々員中有段者トナレル者ハ

柔道部	七名	(明治三十二年四月以降)
劍道部	八名	(明治四十一年十一月以降)
游泳部 (允可)	三名	(明治三十六年七月以降)
弓道部 (允可)	四名	(明治四十三年三月以降)
有段者ニシテ更ニ昇段シタル者ハ		
柔道部	七名	
劍道部	七名	
ニシテ之ヲ既往ノ者ト合算スレハ有段者數		
柔道部	百七十五名	(明治三十二年四月以降)
劍道部	百七十八名	(明治四十一年十一月以降)
游泳部	四十四名	(明治三十六年七月以降)
弓道部	三十三名	(明治四十三年三月以降)
トナレリ		

第二 附屬中學校

本日附屬中學校ヲ卒業スヘキモノハ七十一名ニシテ之ヲ創立以來ノ卒業者ニ加フレハ其ノ數實ニ一千二百二十名ニ達セリ而シテ新卒業者ハ殆ト皆上級ノ學校ニ進マントスル者ニシテ其ノ大多數ハ高等學校ニ入學セントスルモノナリ現在ノ生徒數ハ本日卒業スヘキモノヲ除キ三百十二名ニシテ之ニ來學年入學セシムヘキ八十三名ヲ加フレハ總數三百九十五名ナリトス

教授ニ關シテハ生徒ヲシテ自ラ進ンテ學修セシムルノ方針ヲ採リ自學自修ヲ指導スルノ方法ヲ研究シ先ツ之ヲ語學教授ニ試ミタリ理科教授ニ於テモ亦實驗ノ設備及方法ニ關シテ益々研究ヲ進メタリシカ時偶々理化學獎勵ノ氣運ニ際會シ一般中等學校ノ參考ニ資セシ所少カラス

訓育ニ關シテハ從來ノ方針ヲ繼續シ體育ノ普及ニ務メ身心ノ鍛鍊ヲ圖リ意ヲ將來ノ大成ニ注カシメ生徒各自ノ自覺奮勵ヲ促シテ此ノ目的ヲ達センコトヲ務メタリ

第三 附屬小學校

今回附屬小學校ヲ卒業スヘキ兒童ハ總テ百三名ニシテ現在兒童ノ數ハ八百十名ナリ之ニ來學年入學セシムヘキ兒童百七十八名ヲ加フレハ總數九百八十八名ナリトス

訓練ニ就キテハ前學年度ノ方針ヲ繼續シテ益々其ノ指導ヲ適切ナラシメ毎月一回講堂訓話

ヲ行ヒ訓練上ノ統一ヲ圖リ春秋二回國民記念式ヲ行ヒテ國民的思想ノ涵養ニ資シ尙每學期一回強行遠足ヲ舉行シ徒歩ヲ獎勵シテ以テ心身ノ鍛鍊ヲ圖リタリ研究事項ノ重ナルモノハ各教科教授ノ實地研究ナリ此ノ外戰時ニ於ケル歐米教育及ヒ各國ノ殖民ニ關スル講演會ヲ開キテ職員一同ノ研究ニ資シタリ

右ノ外父兄懇話會ヲ催シテ家庭ト學校トノ連絡ヲ圖リ大運動會擬戰及普通遠足等ヲ舉行シタルコトハ例年ト異ナルコトナシ

設備ニ就キテハ教室ヲ増築シテ地理、理科、圖畫、唱歌、手工、裁縫ノ特別教室ヲ設ケ、教授上多大ノ便ヲ得タリ

第二 東京高等師範學校校友會

(明治四十年十月二日
社團法人設立認可)

一 東京高等師範學校校友會定款

第一章 目的

第一條 本會ハ社團法人トナシ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛練シ以テ校風ヲ振作シ併セテ會員相互ノ親睦ヲ厚クスルヲ以テ目的トス

第二章 名稱

第二條 本會ハ東京高等師範學校校友會ト稱ス

第三章 事務所

第三條 本會ノ主タル事務所ハ之ヲ東京市小石川區大塚窪町貳拾參番地ニ設ク

第四章 會員資格及義務

第四條 本會ノ會員タルモノハ左ノ資格ノ一ニ該當スルモノタルコトヲ要ス

- 一 東京高等師範學校生徒
- 二 現在ノ東京高等師範學校職員
- 三 東京高等師範學校卒業生 舊高等師範學校卒業生及舊東京師範學校卒業生

四 前任ノ東京高等師範學校職員 舊高等師範學校職員及舊東京師範學校職員

第五條 前條ノ資格ノ一ニ該當スルモノニシテ本會會員タラントスルトキハ理事ニ申出テ其承認ヲ經ルヲ要ス

第六條 第四條ノ資格ニ該當セサルモノト雖モ本會ニ對シテ功勞アルモノハ理事ニ於テ特ニ之ヲ會員ニ推薦スルコトヲ得

第七條 會員ハ理事ノ承認ヲ經テ退會スルコトヲ得

第八條 會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行狀アルモノハ理事ニ於テ之ヲ除名スルコトヲ得

第九條 會員タルモノハ總會ニ於テ定ムル所ノ規定ニ基キ所定ノ費用ヲ釀出スル義務ヲ有ス

第五章 理事

第十條 本會ニ理事一名ヲ置ク

第十一條 理事ニハ現在ノ東京高等師範學校長ヲ推薦シテ之ニ充ツ

第十二條 理事ハ會務ノ分掌ヲ定メ其主務者ヲ選任スルコトヲ得

第六章 總會

第十三條 定時總會ハ毎年一回之ヲ開ク

第十四條 總會招集ノ通知ハ東京高等師範學校内掲示場校友會誌及茗溪會發行ノ雜誌教育ニ公告シテ之ヲ行フ

但シ理事ニ於テ書面ヲ發シ又ハ新聞紙上ニ公告シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十五條 總會ニ於ケル表決ハ出席會員ニ限ル書面又ハ代理ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 總會ノ決議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

但シ定款變更ニ關スル決議ハ在京會員ノ半數以上出席シ其出席員ノ三分ノ二以上同意アルヲ要ス

第七章 資産

第十七條 本會ノ資産ハ會員ノ出資及會員並ニ會員ノ外ノ寄附ヲ以テ成ル

第十八條 本會ノ資産ヲ分テテ通常財産及基本財産ノ二種トス

第十九條 本會ノ基本金ヲ以テ基本財産トナス

第二十條 基本金ハ會員カ基本金トシテ釀出スル金額會員並ニ會員以外ノ特定寄附金及本會々計剩餘金ノ蓄積ヲ以テ成ル

第二十一條 基本財産ノ元本ハ何等ノ場合ヲ問ハス之ヲ消費スルコトヲ得ス

第二十二條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ總會ノ決議ヲ以テ別

ニ之ヲ定ム

第八章 補則

第二十三條 本會ハ社團法人ノ登記ヲ申請スル際會員ノ權義等ニ關シテ從來實施セル別紙ノ細則ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

二 東京高等師範學校校友會細則

第一章 目的

第一條 東京高等師範學校校友會ノ目的ハ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛練シ以テ校風ヲ振作シ併セテ相互ノ親睦ヲ厚ウスルニアリ

第二章 會員

第二條 本會々員ハ左ノ四種ヨリナル

- 名譽會員
- 贊助會員
- 特別會員
- 通常會員

第三條 特ニ本會ニ功勞アル人ハ名譽會員トナス

第四條 本校現在職員ヲ以テ贊助會員トナス

第五條 本校前職員及本校卒業生ヲ以テ特別會員トナス

第六條 本校生徒ヲ以テ通常會員トナス

第七條 通常會員ハ評議員會ニ於テ別ニ定ムル所ノ會費ヲ納ムルモノトス
 第八條 通常會員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニヨリ校友會基本金ヲ積立ツルモノトス
 第九條 通常會員ハ入會ノ際入會金壹圓五拾錢ヲ納ムルモノトス
 第十條 贊助會員ハ毎年贊助會員ノ會議ニテ定ムル所ノ割合ニヨリ本會通常經費ヲ寄附スルモノトス

第三章 會務分掌

第十一條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ十一部ヲ置ク

- 談話部
- 雜誌部
- 柔道部
- 劍道部
- 弓道部
- 徒歩部
- 庭球部
- 蹴球部

- 野球部
- 短艇部
- 游泳部

第十二條 談話部ハ會員ノ演說討論談話會ヲ開キ及ヒ校外ノ名士ヲ招聘シテ演說講話ヲ乞フコトヲ掌ル

第十三條 雜誌部ハ本會會誌ヲ發行シテ會務ヲ報告シ會員ノ論說文藝消息等ヲ公ニスルコトヲ掌ル

第十四條 柔道以下ノ九部ハ各其名稱ニ應スル修練ヲ爲スモノトス

第四章 役員

第十五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
 - 副會長 一名
 - 幹事長 一名
 - 部長 十一名
- 但シ一名ニテ二部以上ヲ兼ヌルコトヲ得

會計審查員 四名

評議員 若干名

幹事 五名

主事 各部二名

委員 各部若干名

但シ時宜ニヨリ臨時役員ヲ設クルコトアルヘシ

第五章 役員ノ選任

第十六條 會長ニハ本校校長ヲ推薦ス

第十七條 副會長幹事長及ヒ部長ハ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑ス

第十八條 會計審查員ハ評議員中ヨリ會長之ヲ依囑ス

第十九條 評議員ハ其十名ヲ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ其他ハ各學級ヨリ一名ツ、選出ス

但シ研究科外國學生ヨリハ各學年ヨリ一名ツ、トス

評議員ハ幹事主事若シクハ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

贊助會員ノ評議員ハ部長ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十條 幹事ハ通常會員ノ中ヨリ選出スルモノトス

第二十一條 各部主事ハ當該部委員中ヨリ互選スルモノトス

第二十二條 各部委員ハ本科各年級ヨリ二名宛(體育科設置ノ場合ハ三名)専修科各年級ヨリ一名宛選出スルモノトス

第二十三條 臨時役員ハ贊助會員及ヒ特別會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ若クハ通常會員中ヨリ幹事長之ヲ依囑ス

第六章 役員權限

第二十四條 會長ハ本會會務ヲ總理ス

第二十五條 副會長ハ會長ヲ補佐シ臨時必要ノ場合ニハ會長ニ代ツテ會務ヲ總理ス

第二十六條 幹事長ハ庶務及ヒ會計ノ事務ヲ統理ス

第二十七條 部長ハ當該部ノ事務ヲ統理ス

第二十八條 會計審查員ハ會計事務ヲ審査スルモノトス

第二十九條 會長副會長及ヒ評議員ハ評議員會ヲ組織シ第三十四條ニ定ムル事項ヲ議ス

第三十條 幹事ハ庶務會計ノ事務ヲ處理ス

第三十一條 主事及ヒ委員ハ當該部ノ事務ヲ處理ス

第三十二條 幹事長部長幹事及ヒ主事ハ幹事會ヲ組織シ第三十七條ニ定ムル事項ヲ議ス

第七章 役員ノ任期

第三十三條 副會長幹事長部長會計審査員評議員幹事主事及ヒ委員ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年十二月中ニ改選又ハ依囑ス

但シ翌年度豫算ノ決定卒業生送別會及ヒ第四十四條ニ關スル事項ヲ除クノ外ハ翌年三月ニ至ル迄舊役員各所定ノ任務ニ從事スルモノトス

役員ノ改選期ハ評議員會ノ決議ニヨリ會長ノ許可ヲ經テ一箇月以内變更スルコトヲ得

第八章 評議員會議

第三十四條 評議員會ノ決議スヘキ事項左ノ如シ

- 一 豫算ノ決定
- 一 本會豫算外支出ニ關スル件
- 一 本會規則ノ改正
- 一 其他特ニ重要ナル事項

但シ本條第一項豫算ノ決定ハ前以テ評議員ノ互選セル委員ノ審査ヲ經ルヲ要ス

第三十五條 評議員會ハ會長ヲ以テ議長トス

第三十六條 評議員會ノ決議ハ會長ノ許可ヲ經テ之ヲ執行スルモノトス

第九章 主事會議

第三十七條 主事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ

一 豫算ノ編成

一 校友會大會、陸上大運動會、水上大運動會及ヒ卒業生送別會ニ關スル事項

一 第四十四條ニ關スル事項

一 本會會務ニシテ各部ニ通シテ關係スル事項

第三十八條 主事會ハ部長ノ一名ヲ以テ議長トス

第十章 會計

第三十九條 本會ハ會費寄附金及ヒ基本金ノ利子ヲ以テ歳入トシ一切ノ支出ヲ以テ歳出トス

第四十條 普通歳入ハ豫算會議ニ於テ之ヲ定ム

第四十一條 本會基本金ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十二條 豫算外臨時支出ヲ要スルトキハ評議員會ノ決議ヲ要ス

第十一章 雜則

- 第四十三條 本會各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ主事會ノ承認ヲ經ヘシ
- 第四十四條 本會ニ功勞アルモノ及ヒ本會各部ニ於テ技能特ニ拔群ノモノニ對シテハ相當ノ方法ニヨリ之ヲ表彰スルコトアルヘシ
- 第四十五條 本會ノ贊助會員ニシテ本校ヲ去ルモノニハ紀念品ヲ贈呈スルコトアルヘシ
- 第四十六條 本會會員ニシテ死去シタルトキニハ弔詞或ハ弔慰金ヲ贈ルモノトス
- 第四十七條 本會ノ目的ヲ賛成シ寄附ヲ申込ム者アルトキハ會長ノ許可ヲ受ケ之ヲ受理スルコトアルヘシ
- 第四十八條 本會規則ヲ改正シ又ハ修正セントスルトキハ本會役員十名以上又ハ會員二十名以上ノ同意ニヨリ評議員會ニ提出スルコトヲ得

三 校友會基本金規定

- 第一條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランカ爲ニ基本金ヲ蓄積ス
- 第二條 基本金ハ本會通常會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス
- 第三條 基本金原資ハ何等ノ事情アルモ之ヲ費消スルコトヲ得ス
- 第四條 基本金ヨリ生スル利子ハ本會通常會計ニ編入ス
- 第五條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長ニ於テ評議員會ニ諮詢シ之ヲ定ム
- 第六條 基本金ハ通常會員ノ離金贊助會員並ニ特別會員ノ寄附金及ヒ本會會計剩餘金ヲ積立ツルモノトス
- 第七條 通常會員ハ基本金トシテ毎年九月中旬金一圓ヲ離出スルモノトス
- 第八條 會員以外ノ者ヨリ基本金ノ中へ寄附ヲ申込ムトキハ會長ノ承認ヲ經テ之ヲ受納スルコトアルヘシ
- 第九條 基本金ニ關スル事務ハ本會會計之ニ任ス
- 第十條 基本金ニ關スル公告ハ校友會會誌ヲ以テス

第十一條 本規定ハ評議員ニ於テ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得更ニ賛助會員及通常會員ノ總會ヲ開キ其出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

前項評議員會及ヒ總會ハ少クモ一週間以前ニ開會ヲ豫告スルヲ要ス

第十二條 本規定ハ明治三十六年度ヨリ實施ス

四 校友會入會金規定

第一條 本會ノ基礎ヲ鞏固ニシ其發達ヲ圖ランタメ入會金ヲ蓄積ス

第二條 入會金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計法ヲ設置ス

第三條 入會金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長會計審査委員ニ諮詢シ之ヲ定ム

第四條 入會金原資及其利子ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

第五條 此規定ハ明治三十八年度ヨリ施行ス

五 校友會特別資金規定

- 第一條 短艇(若クハ之ニ代ルモノ)ノ建造並ニ游泳部ノ擴張ノ爲メ各特別資金ヲ設ク
- 第二條 特別資金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計ヲ設置ス
- 第三條 特別資金ハ毎年通常會計中ヨリ支出蓄積スルコトトシ其ノ額ハ豫算會議ニ於テ決定スルモノトス
- 第四條 特別資金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管ス
- 第五條 特別資金ヨリ生スル利子ハ該當金ニ繰込ムモノトス
- 第六條 特別資金ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス
- 第七條 本規程ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス
- 第八條 本規程ハ明治四十四年度ヨリ實施ス

六 校友會役員選舉內規

- 第一條 本會細則第二十條ニ於ケル幹事選舉ハ次ノ規定ニヨル
文科及理科本科三年各一人、文科及理科本科二年各一人、體育科本科三年同本科二年及專修科最終學年ヲ通シテ一人トスルコト
- 第二條 本會細則第二十一條ニ於ケル各部主事ノ選舉ハ次ノ規定ニヨル
本科三年若クハ專修科最終學年ヨリ一人、本科二年若クハ專修科最上級ニ亞ク學年ヨリ一人ヲ當該部委員中ヨリ互選スルコト
但特別ノ事情アル時ハ其部ニ限リ此例ニヨラサルコトヲ得其場合ハ事由ヲ具シテ主事會議ノ承認ヲ經ルヲ要ス
- 第三條 本會細則第二十二條各部委員選出ニ關スル規定中本科選出委員ニ限リ雜誌部ハ文科在學ノモノタルヘク他ハ文科在學、理科在學、體育科在學各一名ツ、トス

第三 弔慰會

弔慰規約

(明治四十五年三月改定、大正元年十月修正、大正六年四月修正)

第一條 職員ハ弔慰ノ費用ニ充ツル爲メ毎年二回(四、十月)各自俸給若ハ手當百分ノ一ヲ釀金スルモノトス

第二條 釀金ヲ支出スヘキ場合及其ノ金額標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、本人死亡 金貳拾圓
- 一、父、母死亡、配偶者死亡、本人病氣(重症又ハ二ヶ月以上ニ亘リタルトキ) 金拾圓
- 一、子(同戶籍内ノモノニ限ル)死亡、本校生徒死亡、校僕死亡 金五圓
- 一、現住宅災厄 金拾圓以内
- 一、校僕災厄 金五圓以内

第一條ノ釀金ヲ爲サ、ル職員及傭外國人ニ對スル弔慰ニ關シテハ世話人ノ協議ニ依リテ之ヲ定ム(大正元年十月追加)

第三條 前條ノ弔慰金ハ場合ニ依リ當該金額ノ範圍内ニ於テ相當ノ物品ヲ贈ルコトアルヘシ

第四條 儲金ハ之ヲ郵便局又ハ確實ナル銀行ニ預金トシテ保管スルモノトス但シ五拾圓以
内ノ金額ヲ支出備金トシテ現金ニテ保管スルコトヲ得

第五條 儲金ニ不足ヲ生シタルトキハ臨時徴收スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其
ノ期日及金額ヲ豫メ總員ニ通知スルモノトス

第六條 本校幹事、附屬學校主事、生徒監及本校教官二人並庶務會計兩課長ヲ世話人トシ
テ本規約ノ施行ニ關スル一切ノ事務ヲ委囑スルモノトス

第七條 世話人ハ毎年四月ニ於テ前年度ニ於ケル收支ノ決算報告ヲナスモノトス

第八條 本規約ヲ改正スルニハ職員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス

第九條 本規約ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

第四 金曜會

金曜會例規 (明治三十六年六月設立)

- 一、本會ハ職員ノ親睦ヲ目的トス
- 二、本會ハ主トシテ教授助教講師ヲ以テ會員トス
- 三、本會ニ常任幹事一名當番幹事四名ヲ置キ當番幹事ハ前回幹事ノ指名ニ依リ輪番交代ス
- 四、本會ハ毎年約五六回幹事ニ於テ適宜ノ時機ヲ見計ラヒ開會ス
- 五、會員ハ會費トシテ毎月金參拾錢ヲ齎出ス
- 六、前項ノ金額ハ毎月之ヲ積立テ置キ開會ノ節費用ノ補助ニ充ツ

右	四	訓育主任及學年擔任ノ誘掖指導 儀式、學級會等ノ施行 訓育內規及ヒ各學年訓育要項ノ實施 桐陰會各部事業ノ實施 家庭トノ協同	本校創立記念日(十月三十日) 一九、三三五圓
外ニ聽講生一名	一、二二〇名	訓練要目ノ實施 訓練實施案ノ施行 兒童ノ作業 兒童ノ會合 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講堂訓話等ノ施行 家庭トノ協同	本校創立記念日(十月三十日) 二一、九〇六圓 四、七七六名
		春季休業(自四月七日至四月十一日) 夏季休業(自七月三十一日至八月三十一日) 冬季休業(自十二月二十五日至一月七日) 祝日、大祭日	
		春季休業(自四月七日至四月十一日) 夏季休業(自七月三十一日至八月三十一日) 冬季休業(自十二月二十五日至一月七日) 祝日、大祭日	



第五 東京高等師範學校概覽

(大正七年六月一日)

事項各部		本校	附屬	中學校	小學校
名	東京高等師範學校	東京高等師範學校附屬中學校	東京高等師範學校附屬小學校		
創立	明治五年九月	明治二十一年九月	明治六年二月		
目的	師範學校中學校高等女學校ノ校長及ヒ教員タルヘキ者ヲ養成ス	一、中學校令ニ基キテ生徒ヲ教育ス 二、中學校教育ノ方法ヲ研究ス 三、師範生徒ヲシテ實地授業ヲ練習セシム	一、小學校令ニ基キテ兒童ヲ教育ス 二、小學校教育ノ方法ヲ研究ス 三、師範生徒ヲシテ實地授業ヲ練習セシム		
位置	東京市小石川區大塚窪町	同上	同上		
敷地	外ニ附屬農業實習地二、一九六坪 二二、四四五坪	二、一七二坪	一、九七三坪		
建物	四、二〇〇坪七五 (内二階二四四坪)	五三九坪 (内二階三二六坪)	九四六坪 (内二階三二五坪)		
圖書	一〇〇、〇三九册 (和漢書) 八四、五七〇册 (洋書)	八、七二三册 (和漢書) 六、七六八册 (洋書)	九、一五六册 (和漢書) 八、九二〇册 (洋書)		
校具	五一、一三四點 (機器) 一五、四六九點 (標本)	五、九〇三點 (機器) 二、七五三〇點 (標本)	一〇、二三四點 (機器) 四、一八八點 (標本)		
職員	一、二八名 (校長、教員、事務員)	三五名 (教員、事務員)	三五名 (教員、事務員)		
學生	六二三名 (本科、特別學生) 三〇七名 (專修科、外國學生)	三八八名	八二八名 (第一、二、三部)		
學科	文科 (四年) 理科 (四年) 體育科 (四年) 本(舊規則)科 (三年) 專修科 (三年) 撰修科 (二年) 研究科 (二年) 專攻科 (二年)	中學校 (五年)	第一部 尋常小學校 第二部 尋常小學校 第三部 女子高等小學校 (二年)		
訓練	寄宿舎ニ於ケル訓育 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講演會等ノ施行 校友會各部事務ノ練習及事業ノ實施	訓育主任及學年擔任ノ誘掖指導 儀式、學級會等ノ施行 訓育內規及ヒ各學年訓育要項ノ實施 桐陰會各部事務ノ實施 家庭下ノ協同	訓練要目ノ實施 訓練實施案ノ施行 兒童ノ作業 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講演會等ノ施行 家庭下ノ協同		
休業日	春期休業 (自四月十一日至四月十五日) 夏期休業 (自七月十一日至七月十五日) 冬期休業 (自十二月二十五日至一月七日) 祝日、大祭日	春期休業 (自四月七日至四月十一日) 夏期休業 (自七月三十一日至八月三十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日至一月七日) 祝日、大祭日	春期休業 (自四月七日至四月十一日) 夏期休業 (自七月三十一日至八月三十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日至一月七日) 祝日、大祭日		
經費	一五四、一七五圓	一九、三三五圓	二一、九〇六圓		
卒業生	外ニ特別學生六名外國學生一八名 四、〇三四名	外ニ聽講生一名 一、二二〇名	四、七七六名		

第六 東京高等師範學校圖書增加累年比較表(自明治三十三年度至大正六年度)

年度	和漢洋書		洋書		計
	和漢洋書 部 冊	部 冊	部 冊	部 冊	
明治三十三年度未現在	10,433	6,447	4,074	6,521	14,870
明治三十四年度未現在	10,849	6,749	4,281	7,399	15,573
明治三十五年度未現在	11,433	6,983	5,259	8,048	16,657
明治三十六年度未現在	11,921	7,033	5,451	8,445	17,333
明治三十七年度未現在	12,090	7,133	5,490	8,933	17,880
明治三十八年度未現在	12,326	7,249	5,499	9,445	18,249
明治三十九年度未現在	12,549	7,379	6,291	9,749	18,741
明治四十年度未現在	12,849	7,533	6,449	10,528	19,446
明治四十一年度未現在	13,251	7,617	6,933	11,028	20,179
明治四十二年度未現在	13,674	7,849	7,291	11,551	20,826
明治四十三年度未現在	14,045	7,983	7,533	11,838	21,047
明治四十四年度未現在	14,257	8,081	7,849	12,017	21,371
大正元年度未現在	14,033	8,133	8,121	12,551	21,321
大正二年度未現在	14,421	8,281	8,399	12,833	21,535
大正三年度未現在	14,684	8,379	8,449	13,149	21,959
大正四年度未現在	14,749	8,481	8,533	13,400	22,127
大正五年度未現在	14,900	8,533	8,633	13,633	22,357
大正六年度未現在	14,831	8,633	8,749	13,849	22,357



第七 東京高等師範學校經費累年比較表 (自明治六年度至大正七年度)

年 度	俸 給	校 館 費	雜給及雜費	備外國人諸給	合 計
明治六年度					二〇、五一三
明治七年度					三〇、四〇二
明治八年度					二五、一五
明治九年度					四四、三三九
明治十年度					三五、九五七
明治十一年度					四三、一二六
明治十二年度					三二、七六九
明治十三年度					三八、八三〇
明治十四年度					三四、一三六
明治十五年度					三七、五六八
明治十六年度					四九、二五〇
明治十七年度					五六、一八七
明治十八年度					五七、七三四
明治十九年度					六一、八六二
明治二十年度					六二、六一二
明治二十一年度					五八、六九五
明治二十二年度					五五、四七九
明治二十三年度	二六、二五二	四、八一三	九、六四三	二、四〇〇	四三、一〇八
明治二十四年度	二七、六四八	三、六二九	九、三七一	〇	四〇、四六八
明治二十五年度	二七、六六四	三、一一〇	九、六六七	〇	四〇、四四一
明治二十六年度	二九、七二一	三、九五三	八、二一四	〇	四一、八八八
明治二十七年度	二八、九二三	四、七七四	八、一八九	〇	四一、八八六
明治二十八年度	二九、八九三	六、二一一	九、九一五	一、九二七	四七、九四六
明治二十九年度	三二、二七七	七、八四九	一二、四一六	二、四〇〇	五四、九四二
明治三十年度	四四、四三〇	一一、三八二	一七、五〇〇	五、五三六	七九、八四八
明治三十一年度	五一、〇四七	一六、〇六〇	二七、六七七	六、六〇〇	一〇一、三八四
明治三十二年度	七七、一〇四	二二、七〇七	三八、一〇五	九、〇〇〇	一四三、九一六
明治三十三年度	七七、四六四	二七、五四五	四三、一七八	九、一〇〇	一五七、二八七
明治三十四年度	八一、九〇五	三一、四五七	五四、九九七	八、九九〇	一七六、九四九
明治三十五年度	八七、四六九	三四、二二一	六四、四六〇	八、九七六	一九五、一二六
明治三十六年度	八七、五一一	三四、二八七	六六、九四一	九、三七六	一九八、一一七
明治三十七年度	八八、四一四	三〇、九一八	五二、六二七	八、七一九	一九九、三六八
明治三十八年度	八七、一〇四	三四、二六六	六〇、六一三	八、五七七	一九八、一一七
明治三十九年度	八八、五七五	三四、九六九	四九、二五九	九、八八九	一八二、六九二
明治四十年度	九一、一八一	三五、七六〇	四五、八六一	九、七〇〇	一八二、五〇二
明治四十一年度	九二、二六四	三九、九三三	四六、九七〇	八、六二四	一八六、七九六
明治四十二年度	九〇、四二五	四〇、五五五	四六、三二二	八、七〇〇	一八六、〇〇二
明治四十三年度	一〇七、七九五	四三、三九〇	五一、八一	八、七〇〇	二一一、六九六
明治四十四年度	一一〇、四二一	四五、七六三	五一、三七四	九、〇〇〇	二一六、五五八
大正元年度	一一二、五五六	四六、六八二	五四、七七五	九、八〇六	二二三、八一九
大正二年度	一一〇、三七八	四一、九九三	四七、七四九	九、〇〇〇	二〇九、一二〇
大正三年度	一〇九、三六三	四三、一五七	三四、九七七	六、〇〇〇	一九三、四九七
大正四年度	一〇七、四五八	三七、三〇二	三二、五三〇	六、〇〇〇	一八三、二九〇
大正五年度	一〇九、二七五	三三、三五九	二七、二四九	五、九六六	一七五、八四九
大正六年度	一一〇、〇三二	三一、三六五	二六、三〇九	六、〇〇〇	一七三、七〇六
大正七年度	一二三、六四〇	三三、二二九	三二、五四七	六、〇〇〇	一九五、四一六

備考

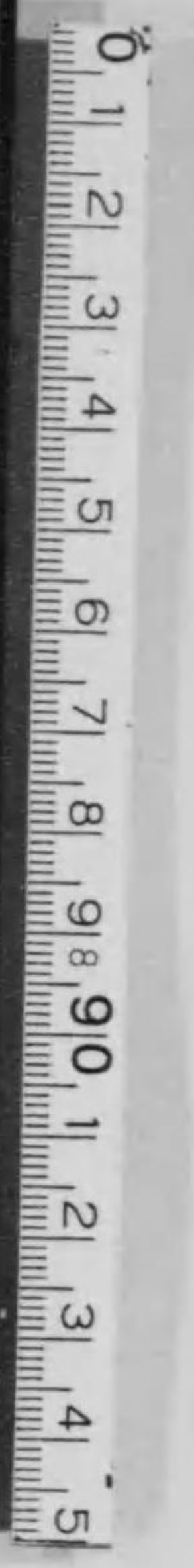
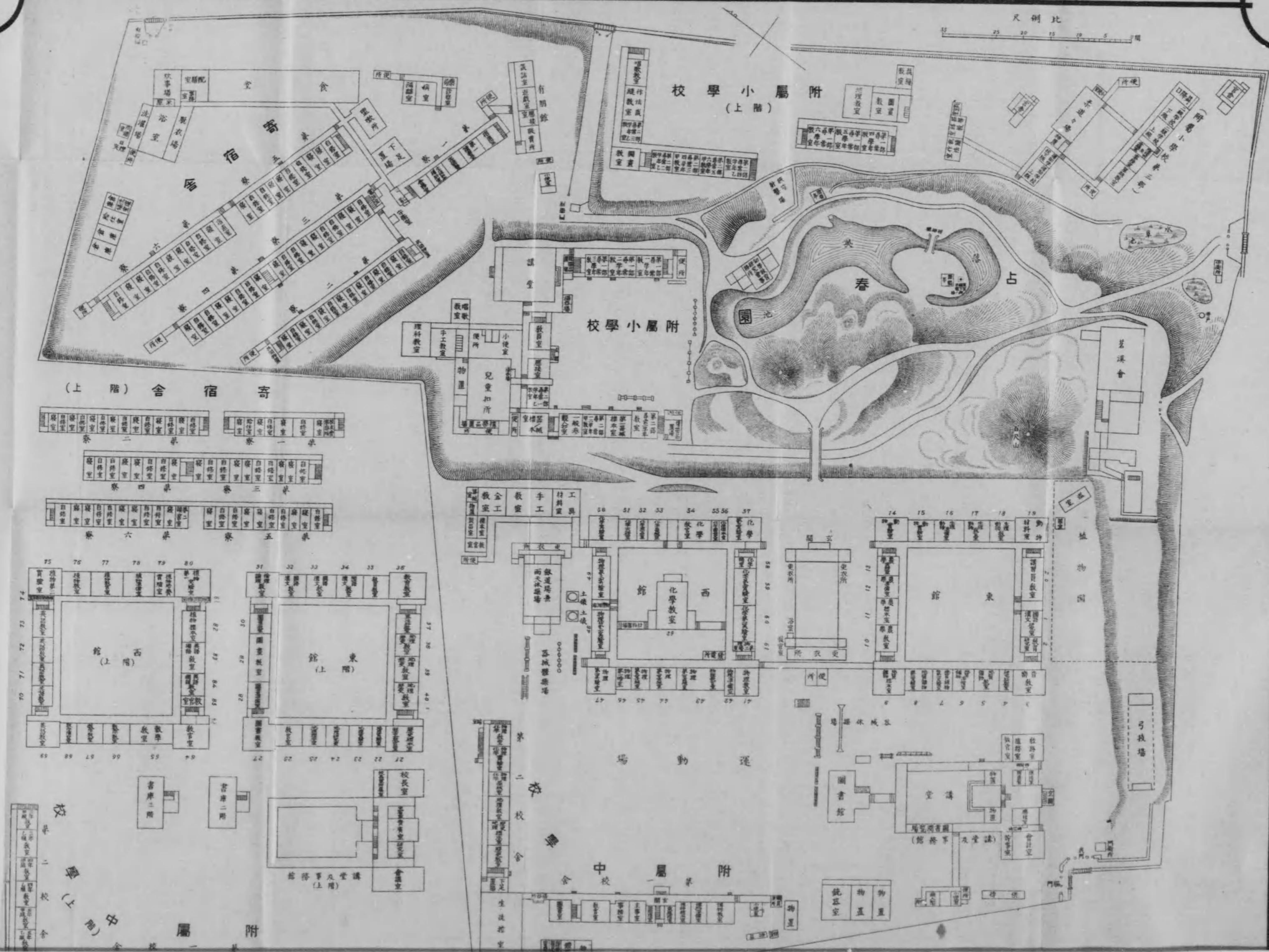
- 一、二十二年度以前ノ經費内譯ハ明ラカナラサルニ付之ヲ省ク
- 一、本表ハ各年度ノ經常費決算額(大正七年度)ヲ掲ク
- 一、各科目中主ナル費途左ノ如シ

俸 給 (教官、講師及事務官ノ俸給) 廳 費 (圖書、機械、標本、器具、消耗品ノ費額) 雜給及雜費 (旅費、學資、修學旅行費、履具及備入ノ給料等)

地 址 建 築 二 千 五 百 五 十 九 坪
 二 千 五 百 六 十 一 坪
 二 千 三 百 七 十 七 坪

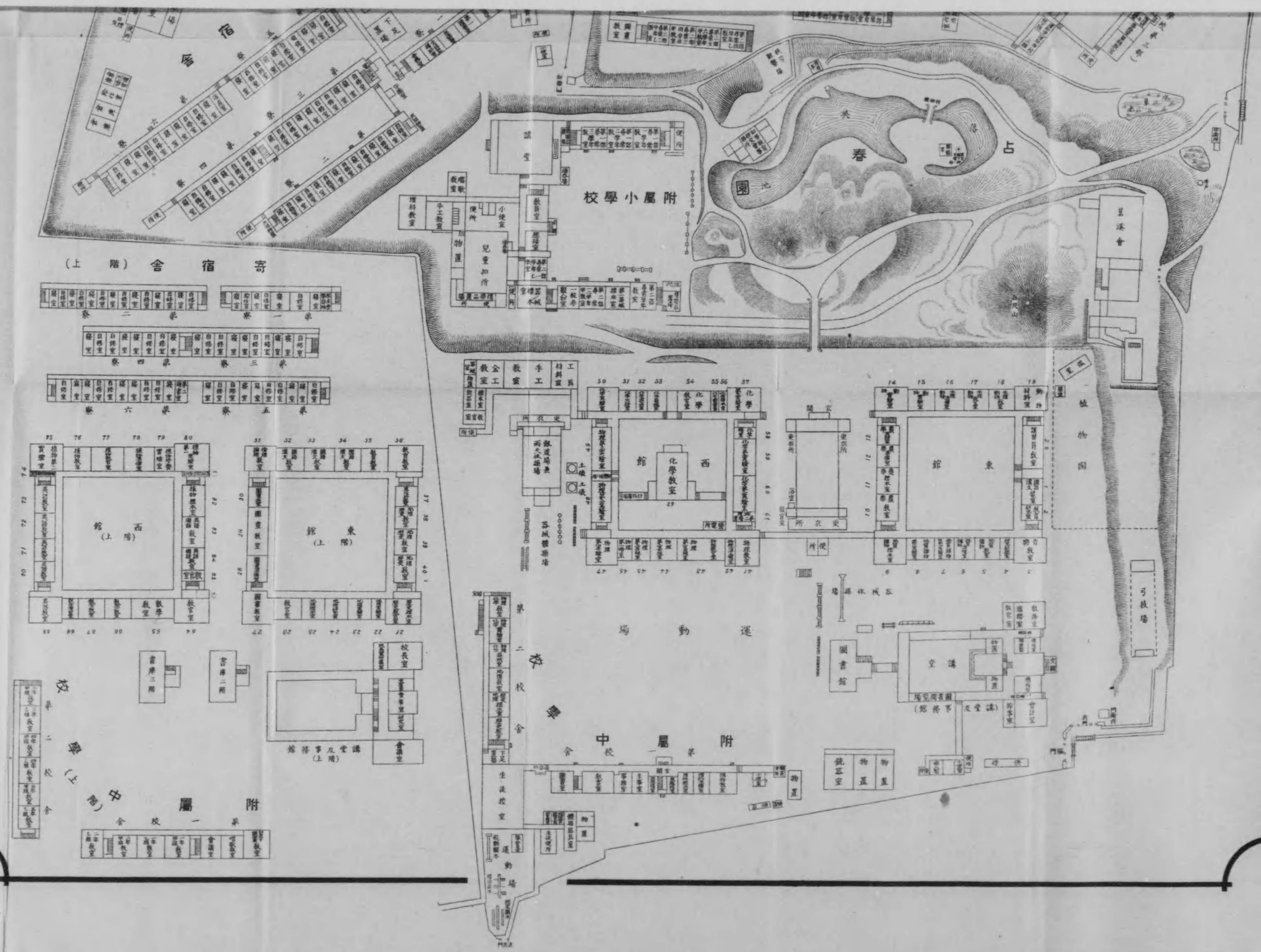
(小石川區塚塚町)

東京高等師範學校略圖



東京高等師範學校(附屬小學)設計事務所 設計

附屬中學及附屬小學校舍圖
中華民國二十二年四月



大正八年二月五日印刷
大正八年二月七日發行

東京高等師範學校

電話
本 宿 舍 校
寄 附 屬 小 中 學 校
石川 石川 石川 石川 石川
七七 七一 六一 六四 四一
一七 一八 一五 一三 二〇
七六 七六 八七 八七 〇〇

東京市神田區美土代町二丁目一番地

島 連 太 郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

三 秀 舍

東京市日本橋區通三丁目十四番地

丸 善 株 式 會 社

大阪、京都、福岡、仙臺

支 店

印 刷 者
印 刷 所
賣 所
同 賣 所

274
別庫
16

終